



観光産業の未来を創るために—。

沖縄観光の未来を考える会

市町村・事業者アンケート調査結果

2008年12月

沖縄観光の未来を考える会

目次

1. はじめに.....	1
1.1 アンケート実施の趣旨	1
1.2 アンケートの概要.....	1
1.2.1 アンケートの目的	1
1.2.2 対象者	1
1.2.3 実施方法・期間	2
1.2.4 主な質問内容	2
1.2.5 回収状況.....	2
1.3 結果概要	5
1.3.1 サマリー	5
1.3.2 今後の課題と	5
2. アンケート集計.....	6
2.1 市町村の観光振興に対する意識と取り組み.....	6
2.2 事業者の観光行政施策に対する意識.....	12
2.3 市町村と事業者の課題意識の比較	14
2.3.1 市町村が考える沖縄観光の課題	14
2.3.2 事業者が考える沖縄観光の課題	16
2.3.3 市町村と事業者が考える沖縄観光の課題の比較	20
2.4 観光まちづくりの推進と広域連携・地域連携.....	23
2.4.1 観光まちづくりの推進と広域連携・地域連携に関する現状	23
2.4.2 地域ごとの連携の取り組み事例もしくは取り組めない理由.....	26
2.5 他の産業との連携について.....	30
2.6 市町村の観光関連体制.....	33
3. 資料編.....	35
3.1 問7. 市町村及び事業者の広域連携・地域連携に関する取り組みの実態.....	35
3.2 調査票.....	78

1. はじめに

1.1 アンケート実施の趣旨

- これまで沖縄県への入域観光客数は右肩上がりに伸びてきた。しかしながら、昨今の沖縄の観光業界においては、米国の金融危機に端を発した景気の悪化や急激な円高の進行といった経済状況をはじめ、沖縄観光を取り巻く環境はたいへん厳しくなってきたとの認識で一致している。
- 観光ニーズが多様化し、競合地との競争が激化する中で、沖縄の観光産業が持続的に発展していくためには、観光業界単独の取り組みだけではなく、農水産業、製造業をはじめとする他産業との連携や、行政、地域住民との地域内連携、広域圏での連携など、より幅広い取り組みが求められるようになっている。
- 折しも、観光立国推進基本法に基づき策定された『観光立国推進基本計画』（平成19年6月）においては、基本方針として、「観光立国の実現に向け、観光の発展を一過性の現象にとどめないためには、地域における創意工夫を生かした主体的な取組を尊重すること、地域固有の観光資源を保全、育成しつつ、適切に活用していくこと、観光地における環境保全に十分配慮することが極めて重要である」とされている。また、「観光の発展を通じ、地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現していく」とも明記されている。
- 以上のことから、沖縄の観光の未来を考える会では、観光産業の持続的発展のためには、観光業界と行政や地域住民が力を合わせて取り組む「観光まちづくり」が重要であるという認識のもと、今回、県内市町村と観光関連事業者を対象としたアンケートを実施した。
- 観光関連の業界団体が中心となって全県的に市町村や観光業界全体にアンケート調査を実施したのは、今回が初めての試みである。

1.2 アンケートの概要

1.2.1 アンケートの目的

- 今後、観光産業と行政や地域住民が連携しながら「観光まちづくり」を進めていく上での参考とするために、県や市町村、観光事業者それぞれの問題意識や取り組みの現状について、共通点と差異を明確にする。また、市町村や事業者が自分たちの現状について再認識する機会とする。

1.2.2 対象者

① 市町村

- 沖縄県庁及び(財)沖縄観光コンベンションビューローのご協力をいただきながら、県内41の市町村すべてに、直接アンケートを依頼した。

② 事業者

- 各市町村観光協会、観光関連事業者(宿泊施設、観光施設、飲食店、アクティビティ、旅行会社・旅連、交通、観光情報)、教育機関等を対象とした。事業者については、各種観光関連団体を通じて会員や関係者へのアンケート協力呼びかけを依頼した。

1.2.3 実施方法・期間

- 市町村向けのアンケート様式と事業者向け様式は異なるものを準備した。紙による調査票の他、インターネット経由の入力フォームも準備した。市町村には郵送で、事業者にはファックスで調査票を送付し、ファックスまたはインターネットで回答を得た。
- 2008年11月18日から順次郵送・ファックスを開始し、12月18日までの1ヶ月間回答を受け付けた。

1.2.4 主な質問内容

① 市町村

- 市町村の観光振興に対する基本姿勢
- 市町村としての今後の観光振興への取り組み
- 既存の取り組み例、または今後の予定など
- 市町村の観光振興の予算
- 県全体としての観光振興の課題だと考えること、および自分たちの市町村の観光振興の課題だと考えること
- 観光まちづくりの推進や広域・地域連携、他産業との連携に関する取り組み状況
- その他

② 事業者

- 観光庁の施策や役割に関する認知度と期待度
- 沖縄県の観光施策に関する認知度と期待度
- 県全体としての観光振興の課題だと考えること、および自社の発展における課題だと考えること
- 観光まちづくりの推進や広域・地域連携との連携に関する取り組み状況

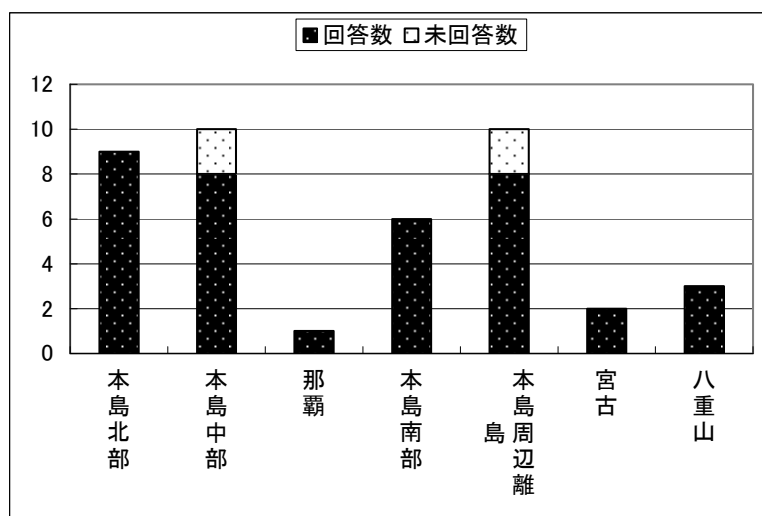
1.2.5 回収状況

① 市町村

- 41市町村に調査票を郵送し、郵送、ファックスまたはインターネット経由で37の市町村から回答があった。地域別の回答状況は以下のとおりである。

【市町村アンケート地域別回収状況】

地域	配付数	回答数	未回答数	回収率
本島北部	9	9	0	100.0%
本島中部	10	8	2	80.0%
那覇	1	1	0	100.0%
本島南部	6	6	0	100.0%
本島周辺離島	10	8	2	80.0%
宮古	2	2	0	100.0%
八重山	3	3	0	100.0%
総計	41	37	4	90.2%

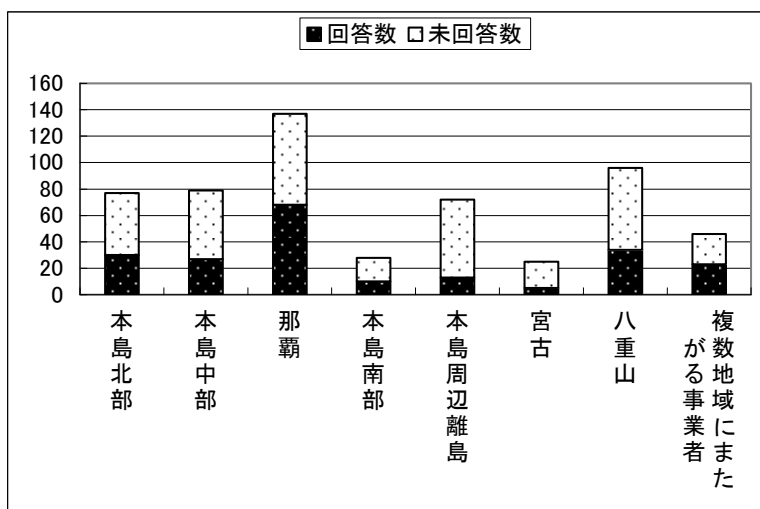


② 事業者

- 560の観光協会や観光関連事業者、教育関係機関等に依頼し、210社から回答を得た。地域別及び業種別回答数は以下のとおりである。

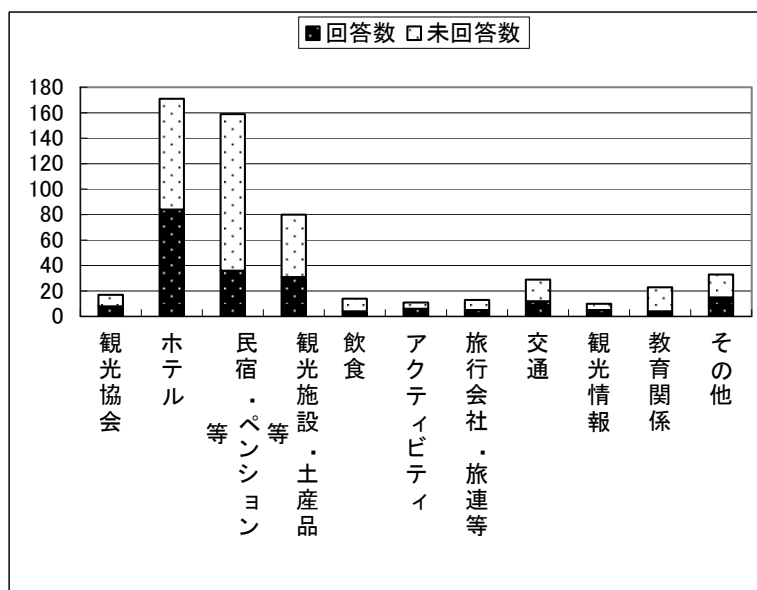
【事業者アンケート地域別回収状況】

地域	配付数	回答数	未回答数	回収率
本島北部	77	30	47	39.0%
本島中部	79	27	52	34.2%
那覇	137	68	69	49.6%
本島南部	28	10	18	35.7%
本島周辺離島	72	13	59	18.1%
宮古	25	5	20	20.0%
八重山	96	34	62	35.4%
複数地域にまたがる事業者	46	23	23	50.0%
総計	560	210	350	37.5%



【事業者アンケート業種別回収状況】

業種	配付数	回答数	未回答数	回収率
観光協会	17	8	9	47.1%
ホテル	171	84	87	49.1%
民宿・ペンション等	159	36	123	22.6%
観光施設・土産品等	80	31	49	38.8%
飲食	14	4	10	28.6%
アクティビティ	11	6	5	54.5%
旅行会社・旅連等	13	5	8	38.5%
交通	29	12	17	41.4%
観光情報	10	5	5	50.0%
教育関係	23	4	19	17.4%
その他	33	15	18	45.5%
総計	560	210	350	37.5%



1.3 結果概要

1.3.1 サマリー

- アンケート結果の要点は以下のとおり。
 - 1) 観光産業の重要性は広く認識されている
 - 2) その一方で、地域ごとの実際の取り組み状況にはかなりの温度差がある
 - 3) 市町村も事業者も自然や文化などの観光資源の保全に対する高い意識を持っている
 - 4) 人材育成の重要性を高く認識している
 - 5) 事業者側も地域連携の必要性は認識しているが、具体的にどのように行動してよいかわからないという意見が多い
 - 6) 地域連携がうまくいっていない地域ではコーディネイター機能をもった組織や人材が求められている
 - 7) 那覇空港の拡張をはじめ観光関連インフラの整備が広く求められている

1.3.2 今後の課題と

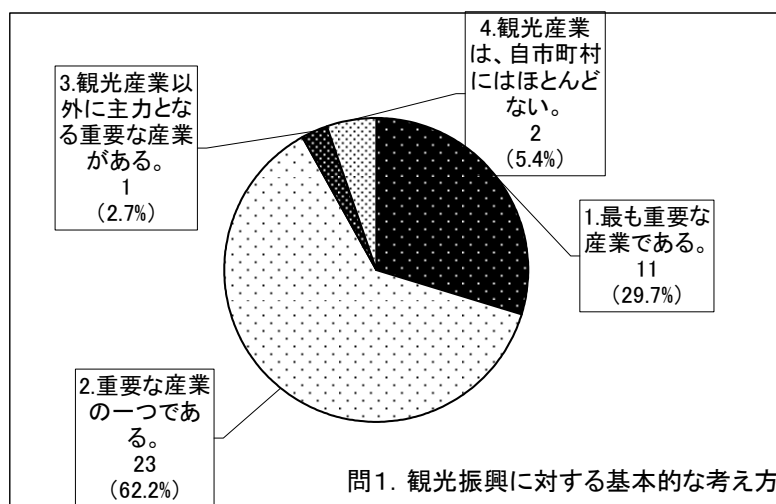
- 今回のアンケート調査の結果から、今後沖縄観光が持続的に発展していくためには、以下が課題として考えられる。
 - 1) 観光を通じた「誇りと愛着を持てる地域づくり」を実現させるためには、行政と民間がそれぞれの役割を認識した上で、ともに主体的に行動する必要がある
 - 2) 那覇空港をはじめ観光関連インフラの整備が重要である
 - 3) 国、県、市町村、観光業界が一体となって、さらに観光人材の育成に関する取り組みを強化する必要がある
- 沖縄観光の未来を考える会では、今回のアンケート結果をもとに、それぞれの地域内での、行政および域内事業者のマッチングが図られ、地域連携が促進されるきっかけとなることを期待するとともに、今後とも観光業界と、国、県、市町村、地域の橋渡しの役割を担っていきたい。

2. アンケート集計

2.1 市町村の観光振興に対する意識と取り組み

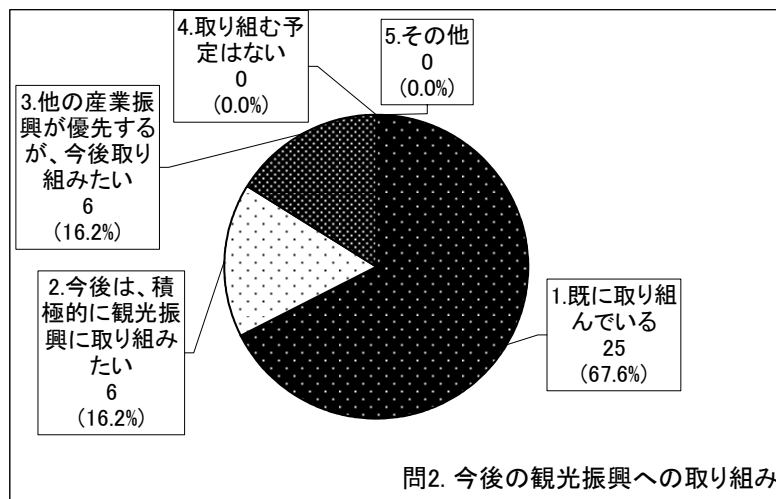
[市町村]—問1. 貴市町村の観光振興に対する基本的な考え方をお聞かせ下さい。1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.最も重要な産業である。	11	29.7%
2.重要な産業の一つである。	23	62.2%
3.観光産業以外に主力となる重要な産業がある。	1	2.7%
4.観光産業は、自市町村にはほとんどない。	2	5.4%
総計	37	100.0%



[市町村]—問2. 貴市町村としての今後の観光振興への取り組みについてお聞かせ下さい。1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.既に取り組んでいる	25	67.6%
2.今後は、積極的に観光振興に取り組みたい	6	16.2%
3.他の産業振興が優先するが、今後取り組みたい	6	16.2%
4.取り組む予定はない	0	0.0%
5.その他	0	0.0%
総計	37	100.0%



[市町村]一問 3. 問2の回答に関して、既存の取り組みまたは今後予定している取り組みについて具体的にお書き下さい。「4. 取り組む予定はない」および「5. その他」を選択した場合は、その理由をお書き下さい。

■問2で「1.既に取り組んでいる」と回答した市町村による問3の回答

▪ 《国頭村》

- ・スポーツコンペティションの取り組み (H19年度より実施)
- ・森林セラピーツアーの実施 (H20年度より実施)
- ・スポーツイベントの実施 (新しいイベントとして今年11月30日トライアスロン大会開催済)

▪ 《東村》

- ・村内観光関連団体への支援
- ・自然資源の保全利用に関するルール作り
- ・必要な施設の整備

▪ 《本部町》

海洋博記念公園を柱とした観光立町として、長期滞在型観光に結びつく資源の活用に観光協会をはじめとする関係団体の連携を取り合い進めている。

▪ 《名護市》

地域資源を活用した「名護さくら祭り」や「名護夏まつり」、県内外の方々が自由に参加できる「名護市長杯争奪全島職域ハーリー大会」や「名護・やんばるツーデーマーチ」の実施により本市への誘客を図り、観光振興を図る。

また、現在北部振興策事業として取り組んでいる名護漁港から名護十字路周辺までの整備に併せ、市街地における魅力のある事業を展開することにより、本市の観光振興を図っていきたい。

▪ 《恩納村》

恩納村むら興し協議会を立ち上げて、観光関連事業所、団体、自治会等の連携による誘客、グリーン・グリーン事業、英会話教室、研修などを実施している。

▪ 《金武町》

体験観光の拠点となる「ネイチャー未来館」が平成20年7月から本格稼動した。今後同施設を中心に様々な観光振興事業を推進したい。また、返還予定の米軍基地の跡地利用においても、観光関連事業の導入も想定している。

▪ 《うるま市》

- ・観光資源(エイサー、闘牛、阿麻和利)のツアー向け商品化
- ・世界遺産の連携強化
- ・景観行政の推進
- ・大型リゾートホテルの誘致(バンヤンツリー)

▪ 《沖縄市》

・平成19年度に「エイサーのまち」宣言を行い、地域芸能を活用した観光誘客事業(沖縄全島エイサーまつり開催支援、エイサーナイト開催)に取り組んでいる。

・その他、観光関連団体への助成を通しての指導、育成や観光宣伝事業(観光情報誌の発刊)等を行っております。

- ・ミュージックタウン音市場を中核施設としたミュージックタウンの推進(音楽イベントの開催支援や音楽関連産業の人材育成等)
- ・スポーツコンベンションの推進(スポーツ合宿の誘致、受入等)
- 《読谷村》
 - ・観光協会への支援
 - ・観光振興計画に基づき計画の促進
- 《北谷町》

既存の取り組みとして、平成18年度に北谷町観光協会を設立しており、北谷町、北谷町商工会、町内各団体と連携を取りながら、現在も観光振興に取り組んでいる。

また、平成20年3月から開催される吉本興業が主催である「沖縄国際映画祭」も本町で行うこととしており、開催に向けて現在調整中である。

他にも、平成23年度に完成予定の北谷町フィッシャリーナ整備事業により、高級リゾート空間を醸し出すハイエンドホテルやフィッシャーマンズワーフの施設に加えて、音楽エンターテインメントをテーマにした特色あるアーバンリゾートを形成し、日本本土はもとより韓国、中国、台湾、フィリピン等の東アジア圏からの誘客を目指している。
- 《宜野湾市》
 1. 魅力あるコンベンション・リゾート機能の充実のため、多彩なイベント(はごろも祭り、カチャーシー大会、琉球海炎祭等)の開催や、マリン体験ができるマリン支援センター及びトロピカルビーチ等、観光資源の有効活用に取り組んでいる。
 2. 本市の都市機能用地にリゾートホテル、中長期滞在の健康保養型複合施設・屋内型複合レジャー施設の観光・リゾート産業の立地を促進している。
 3. プロ野球、社会人野球のキャンプ地、ぎのわん車いすマラソン大会、全国ビーチサッカー大会、プロバスケットbjリーグ等、スポーツコンベンションの誘致や支援を促進している。
- 《那覇市》
 - ・既存の取り組み(観光協会や関係団体と協働しています)
 - ①観光情報発信
 - ②イベント・まつりの実施や支援
 - ③ガイドの養成と支援
 - ④クルーズ船対応
 - ⑤市施設のクーポン券取り扱い
 - ⑥着地型刊行メニュー創出
 - ⑦MICE促進
 - ・今後予定している取り組み
 - ①プロ野球キャンプ誘導
 - ②観光客移動支援事業(まちナビ)
- 《豊見城市》
 1. 観光基盤づくりの推進及び活用(観光利便施設の整備及び活用、豊崎総合公園の活用、ホテル等宿泊施設誘致の促進)
 2. 誘客、宣伝の強化(観光情報提供体制の確立、各種イベントの開催、OCVBや他市町村との連携強化、

観光サインシステムの検討)

3.観光関連産業と人材の育成(既存産業との連携、観光関連産業の育成、観光協会の設立促進、人材の養成・確保)

4.地域資源を活用した観光の創出(自然環境資源の保全と活用、歴史・文化資源の保全と活用)

5.観光拠点(道の駅豊崎)をコアとした既存産業及び施設との連携強化(観光ネットワークの整備促進)

▪ 《南城市》

体験滞在型観光の推進に向け、体験プログラムの開発や人材バンクの開設に取り組んでいる。今後観光振興計画に基づき、癒しと健康をキーワードにした南城ツーリズムを推進する。

▪ 《糸満市》

観光振興の方向性

地域の観光まちづくりに関する事業等の実施状況

※別紙あり

▪ 《伊平屋村》

①観光に係る人材育成(インストラクター養成)

②各種協議会の設立(自然保全、集落景観保全等)

③観光ボランティア支援

《伊是名村》

※歴史的資源を活用したイベント、ショー等の企画実施。

※修学旅行(民宿)の受入れ等入れ域客増に対する取り組み。

※その他誘客活動。

▪ 《伊江村》

修学旅行生を対象に民家体験泊を取り組み第1次産業世帯を中心に受け入れており、村内消費の拡大に寄与している。

また、そのリピーターもおり、長期的にも観光入域が期待できる。

▪ 《渡嘉敷村》

冬場のオフシーズンに集客のため鯨海峡とかしき島一周マラソン大会等の開催をして今年度(H21年2月7日)は第4回を迎えている。

▪ 《久米島町》

既存の取り組み

①食物アレルギー対応型観光

②体験滞在型観光

③観光協会育成・事業支援

④楽天イーグルス春季キャンプ誘致・受入

⑤久米島マラソンの開催

⑥沖縄マーチングリーグ(久米島のんびりウォーク)の開催

今後予定する取組み

①「ラムサール条約」登録の地を活用した商品開発

②健康・福祉をキーワードにした商品開発

▪ 《多良間村》

「田園博物館」自然伝統文化を保全活用へ

- 《石垣市》
平成9年に「石垣市観光立市宣言」を行なう。
現在「石垣市観光基本計画」を策定中。
- 《竹富町》
滞在型観光の促進(関係団体・事業者と連携した観光商品の開発)
- 《与那国町》
テレビドラマのロケ地として取り組み予定

■問2で「2. 今後は、積極的に観光振興に取り組みたい」と回答した市町村による問3の回答

- 《今帰仁村》
 - ・今帰仁グスク桜まつりの開催
 - ・農家民泊の推進
 - ・体験観光の推進
 - ・商工業(製造業)との連携
- 《宜野座村》
リゾート建設の推進
- 《八重瀬町》
 - ・観光資源・保全協議会の起ち上げ
 - ・まちづくり検討(予定)
- 《粟国村》
今後の取り組みについて検討中である。
- 《南大東村》
関係団体等の取りまとめ(受皿)づくり等
- 《宮古島市》
観光振興計画の作成

■問2で「3. 他の産業振興が優先するが、今後取り組みたい」と回答した市町村による問3の回答

- 《嘉手納町》
比謝川の恵まれた自然環境を活用した観光産業の推進に取組み、民間企業を活用した事業化ができるか検討していく。
- 《中城村》
世界遺産の中城城跡を取り込んだイベントの実施
- 《浦添市》
 - ・浦添市観光の情報発信
 - ・観光客の利便性向上
 - ・観光資源の開発と活用
 - ・スポーツ観光コンベンションの振興
 - ・市民参画による体験・滞在型観光振興

・観光振興に関する調査研究

▪ 《与那原町》

与那原まつりのメインである県内三大綱与那原大綱曳を県内外にPRし、大綱曳の町・与那原町として全国的に知名度を高めていく。

平成8年から着工した中城湾港マリントウンプロジェクトで県と一体となってマリーナ・緑地・文化交流施設の整備・促進し観光客誘致を図る。

▪ 《南風原町》

既存の戦跡文化財である陸軍壕病院と琉球緋会館をこれから考えている民泊事業と関連させ観光事業に取り組んでいきたい。

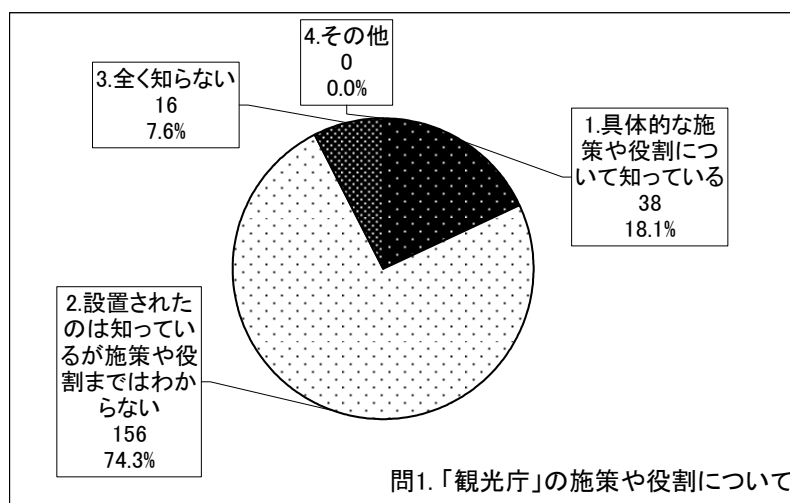
[市町村]—問4. 貴市町村において観光振興の予算(平成20年度実績)はどのくらいですか？

- どこまでを観光振興と位置づけるかなど、当方のアンケート様式の設問があいまいだったため、比較検討が可能な数字を十分に得ることができなかつたため、今回は非公開とさせていただきます。今後の反省材料としたい。

2.2 事業者の観光行政施策に対する意識

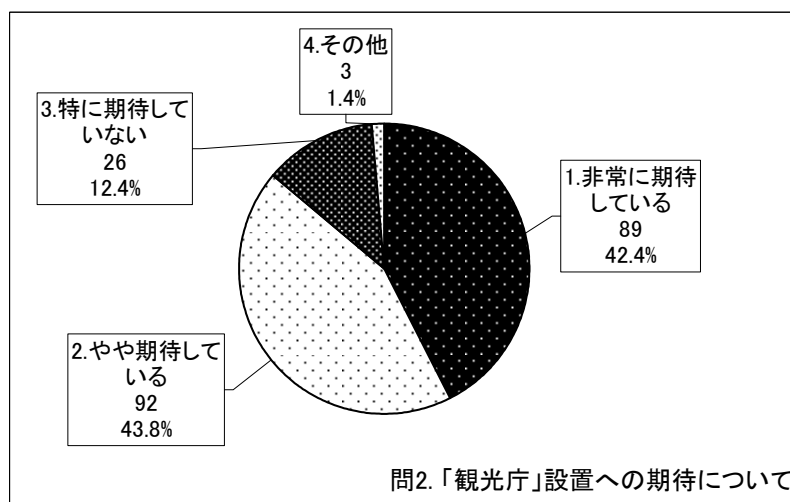
【事業者】問1. 平成20年10月1日に国土交通省の外局として「観光庁」が設置されましたが、その施策や役割についてご存知でしたか？ 1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.具体的な施策や役割について知っている	38	18.1%
2.設置されたのは知っているが施策や役割まではわからない	156	74.3%
3.全く知らない	16	7.6%
4.その他	0	0.0%
	210	100.0%



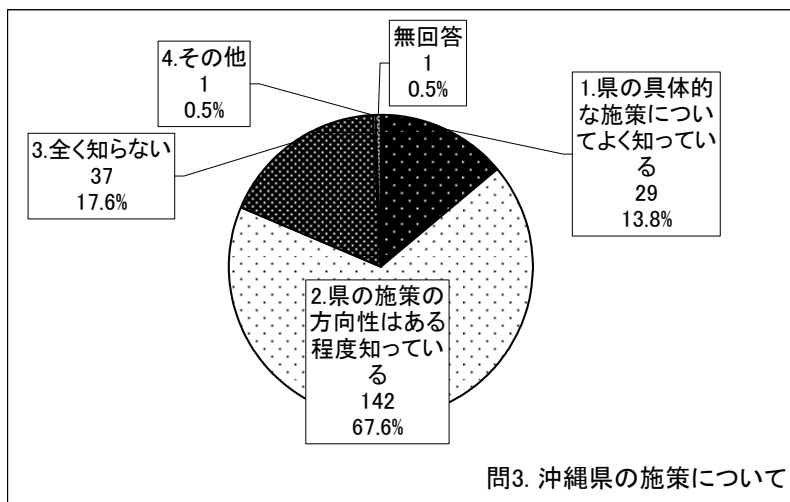
【事業者】問2. 「観光庁」の設置についてどのようにお考えですか？ 1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.非常に期待している	89	42.4%
2.やや期待している	92	43.8%
3.特に期待していない	26	12.4%
4.その他	3	1.4%
総計	210	100.0%



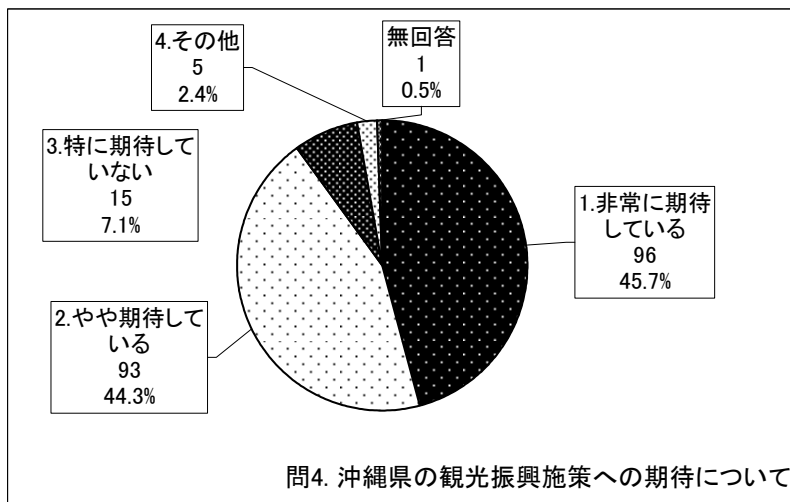
【事業者】－問3. 沖縄県では「沖縄県観光振興計画」や「ビジットおきなわ計画」などに基づいて施策を展開しています。これら沖縄県の施策についてどの程度ご存じですか？ 1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.県の具体的な施策についてよく知っている	29	13.8%
2.県の施策の方向性はある程度知っている	142	67.6%
3.全く知らない	37	17.6%
4.その他	1	0.5%
無回答	1	0.5%
総計	210	100.0%



【事業者】－問4. 沖縄県の観光振興施策についてどのようにお考えですか？ 1つだけお選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.非常に期待している	96	45.7%
2.やや期待している	93	44.3%
3.特に期待していない	15	7.1%
4.その他	5	2.4%
無回答	1	0.5%
総計	210	100.0%



2.3 市町村と事業者の課題意識の比較

- 市町村と事業者それぞれが、沖縄観光の課題について、「県全体の課題」だと認識していることと「自分たちの課題」だと認識していることを明確にするため、市町村・事業者ともに共通の15の選択肢から3つずつを選んでいただいた。

2.3.1 市町村が考える沖縄観光の課題

- 以下に市町村向けの設問様式を例示する。

[市町村]ー問5. 以下のうち、沖縄県全体としての観光振興、および貴市町村の観光振興にとって、最も重要だと思う課題をそれぞれ3つずつ選び、下表の「沖縄県全体の課題」「市町村の課題」の欄に○をお書き下さい。

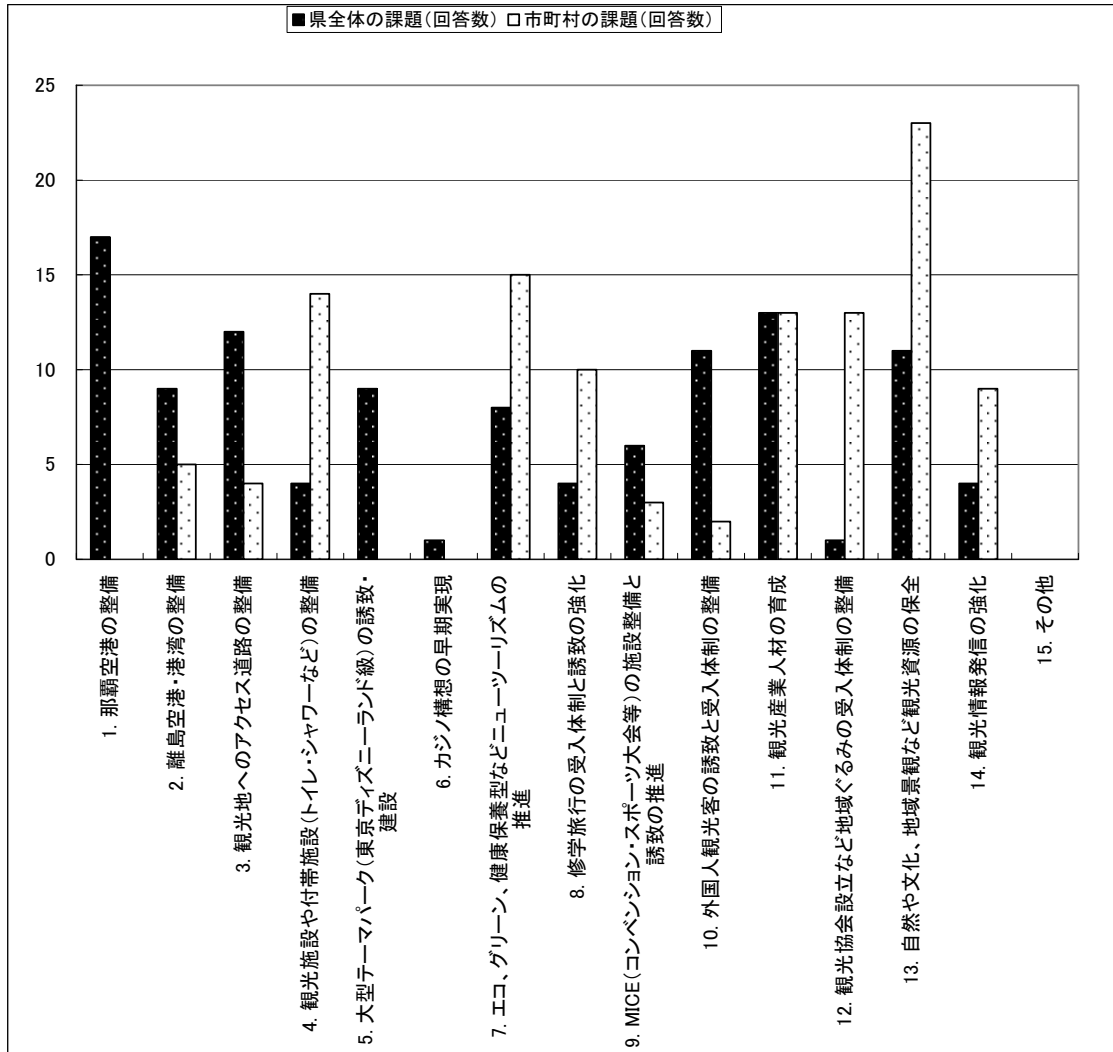
	沖縄県全体の課題 (3つまで)	市町村の課題 (3つまで)
1. 那覇空港の整備		
2. 離島空港・港湾の整備		
3. 観光地へのアクセス道路の整備		
4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備		
5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設		
6. カジノ構想の早期実現		
7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進		
8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化		
9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進		
10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備		
11. 観光産業人材の育成		
12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備		
13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全		
14. 観光情報発信の強化		
15. その他		

「15.その他」を選択された方は課題だと思ふことを具体的にお書き下さい。

沖縄県の課題:

市町村の課題:

	1. 那覇空港の整備	2. 離島空港・港湾の整備	3. 観光地へのアクセス道路の整備	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設	6. カジノ構想の早期実現	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備	11. 観光産業人材の育成	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全	14. 観光情報発信の強化	15. その他
県全体の課題(回答数)	17	9	12	4	9	1	8	4	6	11	13	1	11	4	0
市町村の課題(回答数)	0	5	4	14	0	0	15	10	3	2	13	13	23	9	0
県全体の課題(回答比率)	45.9%	24.3%	32.4%	10.8%	24.3%	2.7%	21.6%	10.8%	16.2%	29.7%	35.1%	2.7%	29.7%	10.8%	0.0%
市町村の課題(回答比率)	0.0%	13.5%	10.8%	37.8%	0.0%	0.0%	40.5%	27.0%	8.1%	5.4%	35.1%	35.1%	62.2%	24.3%	0.0%
県全体の課題(順位)	1	6	3	10	6	13	8	10	9	4	2	13	4	10	15
市町村の課題(順位)	12	8	9	3	12	12	2	6	10	11	4	4	1	7	12



- 市町村が観光について「県全体の課題」だと認識している順位は以下のとおり。

県全体の課題		項目
順位	回答数	
1位	17票	1. 那覇空港の整備
2位	13票	11. 観光産業人材の育成
3位	12票	3. 観光地へのアクセス道路の整備
4位	11票	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備
4位	11票	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全
6位	9票	2. 離島空港・港湾の整備
6位	9票	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設
8位	8票	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進
9位	6票	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進
10位	4票	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備
10位	4票	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化
10位	4票	14. 観光情報発信の強化
13位	1票	6. カジノ構想の早期実現
13位	1票	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備
15位	0票	15. その他

※37市町村中の票数

- 一方で、市町村が観光について「自分たちの課題」だと認識している順位は以下のとおり。

市町村の課題		項目
順位	回答数	
1位	23票	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全
2位	15票	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進
3位	14票	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備
4位	13票	11. 観光産業人材の育成
4位	13票	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備
6位	10票	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化
7位	9票	14. 観光情報発信の強化
8位	5票	2. 離島空港・港湾の整備
9位	4票	3. 観光地へのアクセス道路の整備
10位	3票	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進
11位	2票	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備
12位	0票	1. 那覇空港の整備
12位	0票	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設
12位	0票	6. カジノ構想の早期実現
12位	0票	15. その他

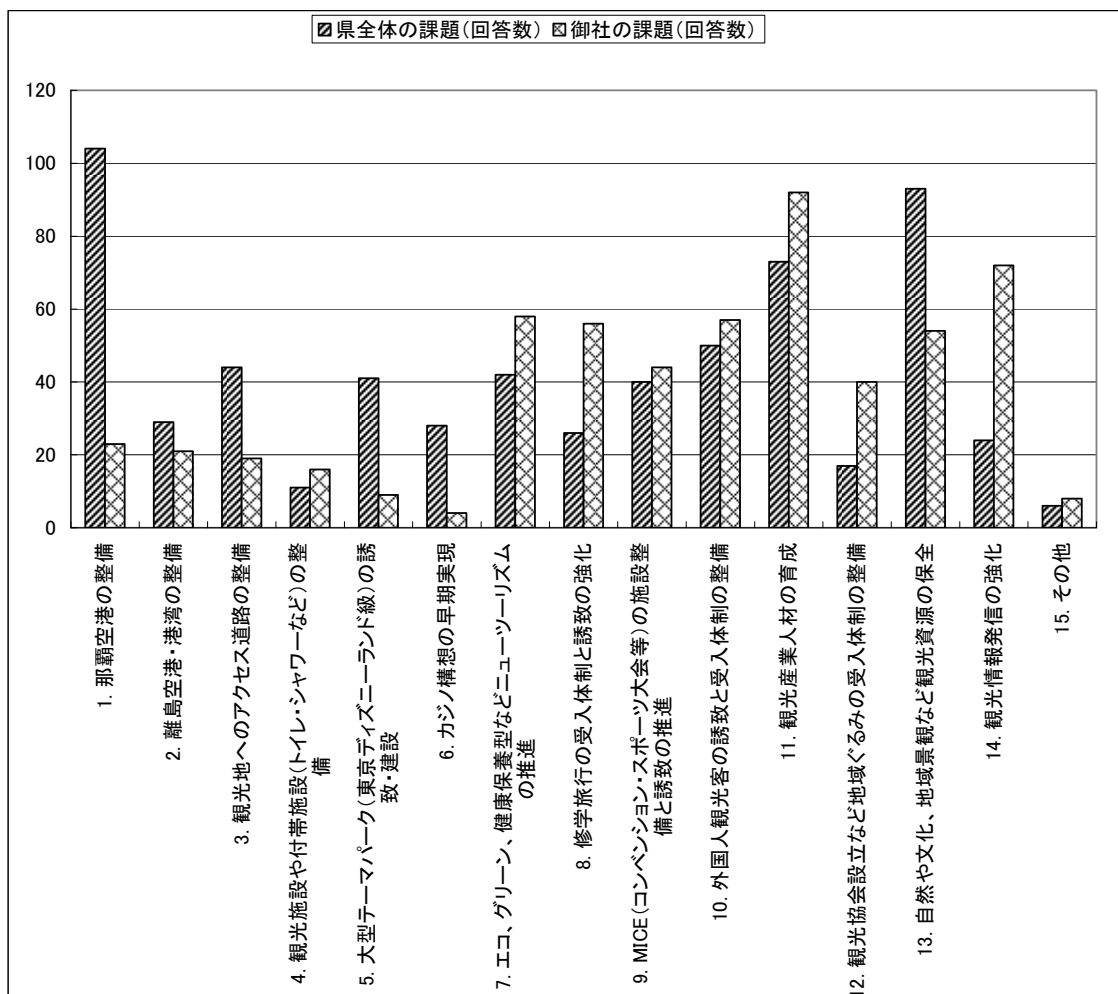
※37市町村中の票数

2.3.2 事業者が考える沖縄観光の課題

- 次に事業者が考える「沖縄全体の課題」と「自分たちの課題」について比較する。

【事業者】問5. 以下のうち、沖縄県全体としての観光振興、および御社の発展にとって、最も重要だと思う課題をそれぞれ3つずつ選び、下表の「沖縄県全体の課題」「御社の課題」の欄に○をお書き下さい。

	1. 那覇空港の整備	2. 離島空港・港湾の整備	3. 観光地へのアクセス道路の整備	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設	6. カジノ構想の早期実現	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化	9. MIOE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備	11. 観光産業人材の育成	12. 観光協会設立など地域ぐるみでの受入体制の整備	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全	14. 観光情報発信の強化	15. その他
県全体の課題(回答数)	104	29	44	11	41	23	42	26	40	50	73	17	93	24	6
御社の課題(回答数)	23	21	19	16	9	4	58	56	44	57	92	40	54	72	8
県全体の課題(回答比率)	49.5%	13.8%	21.0%	5.2%	19.5%	13.3%	20.0%	12.4%	19.0%	23.8%	34.8%	8.1%	44.3%	11.4%	2.9%
御社の課題(回答比率)	11.0%	10.0%	9.0%	7.6%	4.3%	1.9%	27.6%	26.7%	21.0%	27.1%	43.8%	19.0%	25.7%	34.3%	3.8%
県全体の課題(順位)	1	9	5	14	7	10	6	11	8	4	3	13	2	12	15
御社の課題(順位)	9	10	11	12	13	15	3	5	7	4	1	8	6	2	14



- 事業者が観光について「県全体の課題」だと認識している順位は以下のとおり。

県全体の課題		項目
順位	回答数	
1位	104票	1. 那覇空港の整備
2位	93票	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全
3位	73票	11. 観光産業人材の育成
4位	50票	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備
5位	44票	3. 観光地へのアクセス道路の整備
6位	42票	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進
7位	41票	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設
8位	40票	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進
9位	29票	2. 離島空港・港湾の整備
10位	28票	6. カジノ構想の早期実現
11位	26票	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化
12位	24票	14. 観光情報発信の強化
13位	17票	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備
14位	11票	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備
15位	6票	15. その他

※210社中の票数

- 一方で、事業者が観光について「自分たちの課題」だと認識している順位は以下のとおり。

御社の課題		項目
順位	回答数	
1位	92票	11. 観光産業人材の育成
2位	72票	14. 観光情報発信の強化
3位	58票	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進
4位	57票	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備
5位	56票	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化
6位	54票	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全
7位	44票	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進
8位	40票	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備
9位	23票	1. 那覇空港の整備
10位	21票	2. 離島空港・港湾の整備
11位	19票	3. 観光地へのアクセス道路の整備
12位	16票	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備
13位	9票	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設
14位	8票	15. その他
15位	4票	6. カジノ構想の早期実現

※210社中の票数

- 「15.その他」に上げられた「事業者が考える県全体の課題」
 - 人材の育成と教育強化(人間力の向上)
 - 石垣新空港の早期開港・市街地までのアクセス道路の整備
 - 沖縄本島は、リゾート化されていると思うのであまり大きなホテル、施設等は不用に思う
 - 観光情報発信の仕方又は情報(密度の濃い)情報の提供
 - ホテル従事者及び経験者を観光庁に採用するべきである。現場経験ない方は具体策は出てこないと思います。
 - 雨が降れば海が汚れる、海は観光の目的であります。今手を打たなければ(危機感をもって)観光立県にならないと思う。
 - 観光振興に向けた、行政や公益団体と、民間事業者、地域住民などの協働体制づくり
 - 道路環境の美化
 - ①外国人受入れについては、企業努力だけでは難しいところがあるので、英語の道路の整備や案内表示等に関しても、県で総合的に行って欲しい。また外国人観光客誘致については、中国語、韓国語などの翻訳についての助言、協力が欲しい。(宿泊約款のサンプルデー

ターや館内表示などの文言を無料配布するなど)②観光産業人材育成については、実践に主体をおいた教育機関(マネージメント経営など)の設立を求めたい。

- ホテル建設ラッシュの規制
- 高年齢層の沖縄滞在型と、健康に関する観光振興
- リゾートウェディング
- 沖縄の(南国)自然(海、陸)を守り、心を癒す島沖縄、また沖縄一周を歩いて走って安心して健康を守る為に旅行が出来る様な道路整備をし、健康沖縄と観光沖縄を検討してもらいたい。
- 点と線でない面の施設整備
- ホテル・旅館等宿泊施設の情報化
- アクセス道路について北部方面の高速道路
- 観光地への表示が少ない

・「15.その他」に上げられた「事業者が考える自社の課題」

- 人材の確保(地元出身者)
- インフラ(ホテル施設のメンテナンス)・ホテルスタッフの人材育成
- 離島に来る客は「わざわざ行く」という観念から楽しさを求めている。団体から個人旅行への傾向があるので「わざわざ来てもらうには」を考え実行したいと思う。そのためには自然を残さないといけない。
- 交通のアクセスが悪く、公的な看板設置を早急にして頂きたい。本土資本大型ホテル係公的な看板あるが、県内資本の中小ホテルの公的な看板なく差別感すら感じます。
- 古い建物をどのように磨き、リゾート雰囲気作りと沖縄・琉球らしい文化の香りある建物にするか。
- 外国人受入れの為にソフト面の強化(特に言語等)
- ポスト修学旅行の事業の方向性を模索しているところである。
- 上の1～15は各事業所の課題としては当てはめにくいのでは？
- 観光関連施設(宿泊施設を含む)の就労環境の充実整備
- 美しい環境
- 稼動が伸びない為、設備投資、昇給が出来ないので従業員が安定しない。
- 観光客の滞在日数、消費額の増大施策
- 観光客の欲求や心理に対しての関心の近さ
- ホテル・旅館等宿泊施設の情報化(地上デジタル放送含む)によるホスピタリティ向上へ寄与すること。
- 収益事業の確立
- 沖縄ならではの、大型テーマパーク
- 自然文化への取り組み
- 協会の組織強化と人材育成、受入体制の整備
- 自社施設の拡充

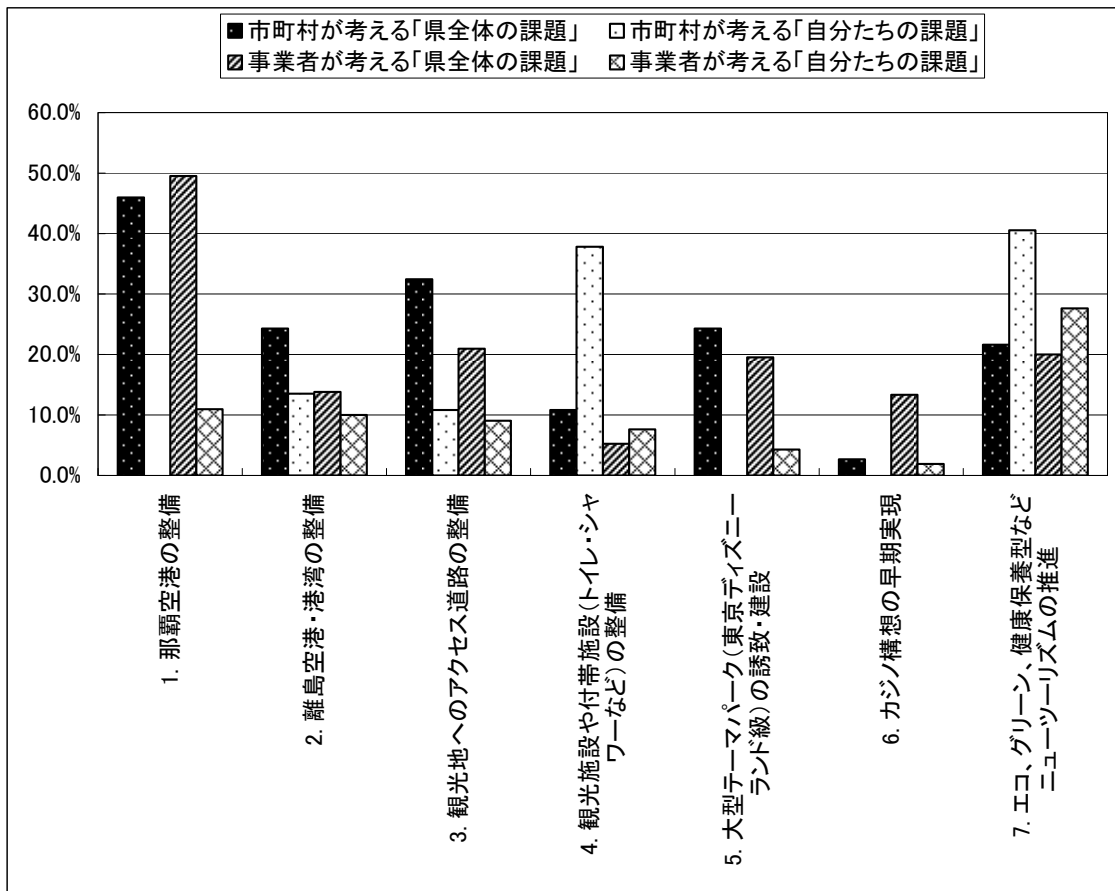
2.3.3 市町村と事業者が考える沖縄観光の課題の比較

- 次に、市町村と事業者がそれぞれ考える沖縄観光全体の課題と自身の課題を比較する。
- 次ページ以降のグラフは、37市町村と210事業者のうち、それぞれ何パーセントが各項目を選択したかの回答比率を算出し、ひとつのグラフにまとめたものである。項目ごとに4本ずつの棒グラフからなっており、左から「市町村が考える県全体の課題」、「市町村が考える自分たちの課題」、「事業者が考える県全体の課題」、「事業者が考える自分たちの課題」を表している。

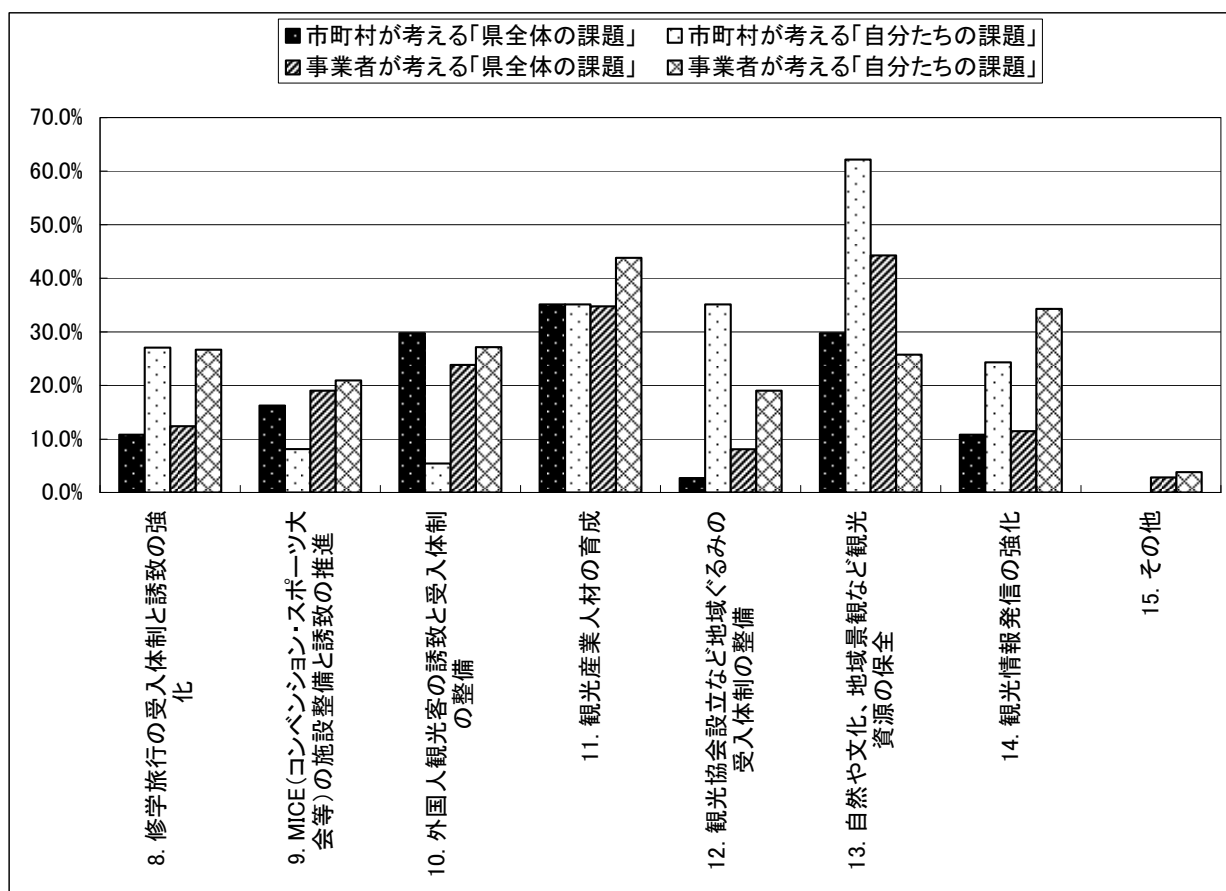
【主な項目に対する補足】

1. **那覇空港の整備**
 - 市町村、事業者ともに、県全体の課題として高く認識している。
2. **離島空港・港湾の整備**
 - 離島市町村のほぼすべてがこの項目を選択している。また、在離島の事業者の過半数がこの項目を選択している。
3. **観光地へのアクセス道路の整備**
 - 市町村も事業者も県の課題だと認識している傾向が強い。
4. **観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備**
 - 市町村が自分たちの課題だと捉えている。
7. **エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進**
 - 市町村や事業者が(特に市町村が)自分たちの課題として捉えている。
8. **修学旅行の受入体制と誘致の強化**
 - 市町村も事業者も県全体というより自分たちの課題として捉えている。
10. **外国人観光客の誘致と受入体制の整備**
 - 外国人観光客の受入について、市町村の課題意識が低い傾向にある。
11. **観光産業人材の育成**
 - 観光産業人材の育成についてはおしなべて課題意識が高い(特に事業者が自身の課題として捉えている)。
12. **観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備**
 - 市町村に比して事業者側の課題意識が低い。
13. **自然や文化、地域景観など観光資源の保全**
 - 市町村も事業者も課題意識が高い。特に市町村は自身の課題として捉えているので、市町村がリーダーシップをとり、事業者が参画して保全活動を進め、それを県が支援するような施策が考えられるのではないか。
14. **観光情報発信の強化**
 - インターネットの普及によって沖縄全体の観光情報は充実してきているためか、事業者が自社の課題として捉える傾向が強い。

	1. 那覇空港の整備	2. 離島空港・港湾の整備	3. 観光地へのアクセス道路の整備	4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備	5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設	6. カジノ構想の早期実現	7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進
市町村が考える「県全体の課題」	45.9%	24.3%	32.4%	10.8%	24.3%	2.7%	21.6%
市町村が考える「自分たちの課題」	0.0%	13.5%	10.8%	37.8%	0.0%	0.0%	40.5%
事業者が考える「県全体の課題」	49.5%	13.8%	21.0%	5.2%	19.5%	13.3%	20.0%
事業者が考える「自分たちの課題」	11.0%	10.0%	9.0%	7.6%	4.3%	1.9%	27.6%



	8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化	9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進	10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備	11. 観光産業人材の育成	12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備	13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全	14. 観光情報発信の強化	15. その他
率	10.8%	16.2%	29.7%	35.1%	2.7%	29.7%	10.8%	0.0%
市町村が考える「県全体の課題」	10.8%	16.2%	29.7%	35.1%	2.7%	29.7%	10.8%	0.0%
市町村が考える「自分たちの課題」	27.0%	8.1%	5.4%	35.1%	35.1%	62.2%	24.3%	0.0%
事業者が考える「県全体の課題」	12.4%	19.0%	23.8%	34.8%	8.1%	44.3%	11.4%	2.9%
事業者が考える「自分たちの課題」	26.7%	21.0%	27.1%	43.8%	19.0%	25.7%	34.3%	3.8%



2.4 観光まちづくりの推進と広域連携・地域連携

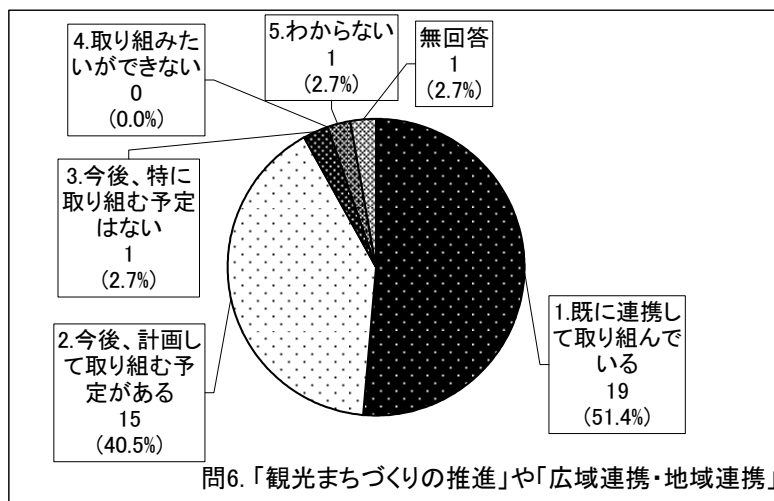
2.4.1 観光まちづくりの推進と広域連携・地域連携に関する現状

- 以下のとおり、ほぼ同様の質問を市町村および事業者対象にお聞きした。まず問6でそれぞれの基本的な考えをたずね、問7で具体的な取り組み事例、もしくは取り組めない理由などを質問した。

【市町村】問6 政府は、「観光立国推進基本計画」の基本方針として“地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現”を上げています。また、県においては、「第3次沖縄県観光振興計画」の中で、市町村、民間団体、圏域等が広範に連携して観光まちづくりを推進することとしています。このように、今後は地域の行政や観光事業者、他産業従事者などの連携による地域ぐるみの観光振興が求められています。

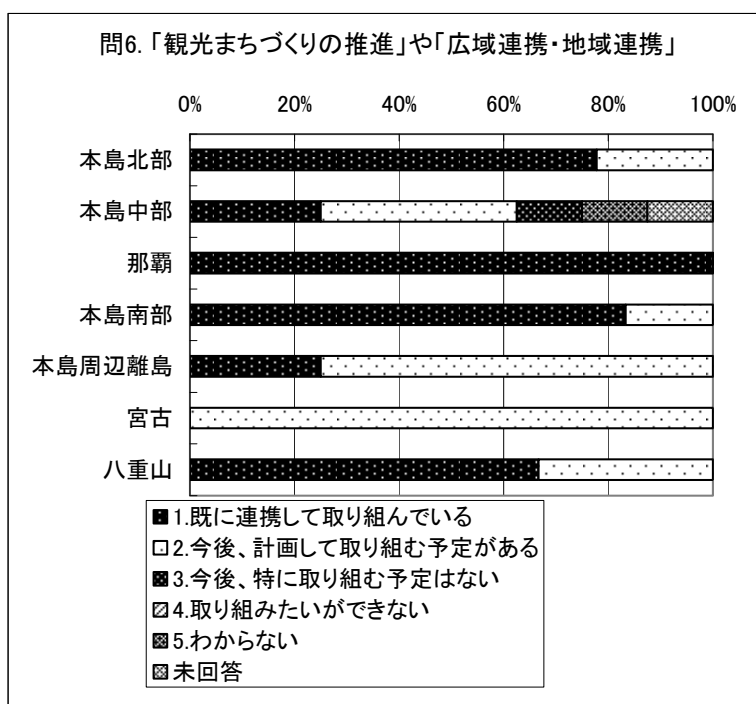
貴市町村においては、「観光まちづくりの推進」や「広域連携・地域連携」について、どのようにお考えですか？ **1つだけ**お選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.既に連携して取り組んでいる	19	51.4%
2.今後、計画して取り組む予定がある	15	40.5%
3.今後、特に取り組む予定はない	1	2.7%
4.取り組みたいができない	0	0.0%
5.わからない	1	2.7%
無回答	1	2.7%
総計	37	100.0%



- 上記結果を、地域別のパーセンテージでグラフ化すると次ページのとおりとなる。

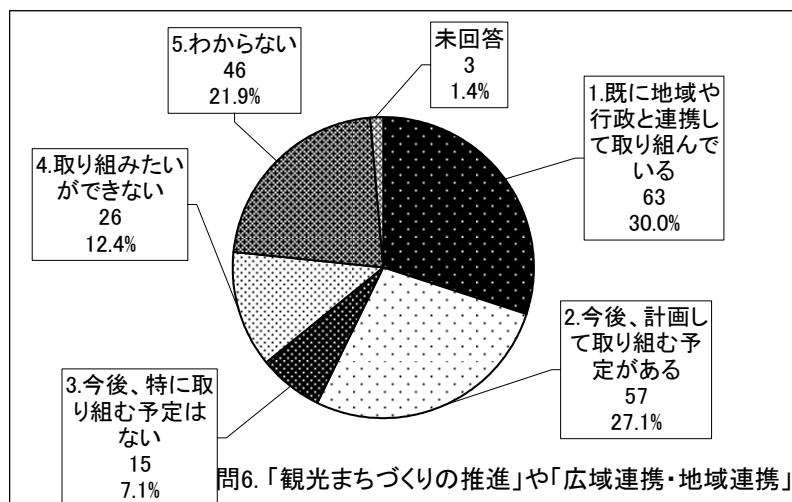
地域	1.既に連携して取り組んでいる	2.今後、計画して取り組む予定がある	3.今後、特に取り組む予定はない	4.取り組みたいができない	5.わからない	未回答	合計
本島北部	7	2					9
本島中部	2	3	1		1	1	8
那覇	1						1
本島南部	5	1					6
本島周辺離島	2	6					8
宮古		2					2
八重山	2	1					3
合計	19	15	1	0	1	1	37



[事業者]—問6 政府は、「観光立国推進基本計画」の基本方針として“地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現”を上げています。また、県においては、「第3次沖縄県観光振興計画」の中で、市町村、民間団体、圏域等が広範に連携して観光まちづくりを推進することとしています。このように、今後は地域の行政や観光事業者、他産業従事者などの連携による地域ぐるみの観光振興が求められています。

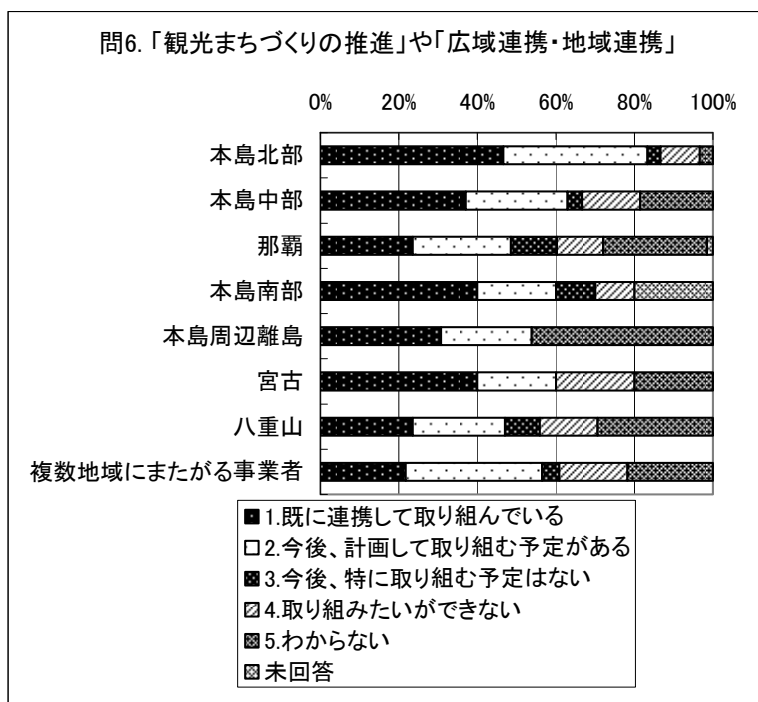
御社においては、「観光まちづくりの推進」や「広域連携・地域連携」について、どのようにお考えですか？**1つだけ**お選び下さい。

選択肢	回答数	比率
1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる	63	30.0%
2.今後、計画して取り組む予定がある	57	27.1%
3.今後、特に取り組む予定はない	15	7.1%
4.取り組みたいができない	26	12.4%
5.わからない	46	21.9%
未回答	3	1.4%
総計	210	100.0%



- 上記結果の、地域別詳細は次のとおり。

地域	1.既に連携して取り組んでいる	2.今後、計画して取り組む予定がある	3.今後、特に取り組む予定はない	4.取り組みたいができない	5.わからない	未回答	合計
本島北部	14	11	1	3	1		30
本島中部	10	7	1	4	5		27
那覇	16	17	8	8	18	1	68
本島南部	4	2	1	1		2	10
本島周辺離島	4	3			6		13
宮古	2	1		1	1		5
八重山	8	8	3	5	10		34
複数地域にまたがる事業者	5	8	1	4	5		23
合計	63	57	15	26	46	3	210



2.4.2 地域ごとの連携の取り組み事例もしくは取り組めない理由

- 問6の回答を踏まえて、具体的な取り組み事例もしくは取り組めない理由などをお聞きした。以下、その結果のうち、既存の取り組み事例および、取り組めない理由を中心に例示する。

【市町村・事業者共通】－問7 問6の回答に関して、既存の取り組みまたは今後予定している取り組みについて具体的にお書き下さい。「3. 今後、取り組む予定はない」および「4. 取り組みたいができない」を選択した場合は、その理由をお書き下さい。

- 「1. すでに連携して取り組んでいる」場合の事例(市町村)
 - 国頭村、大宜味村、東村の3村で「やんばる交流推進連絡協議会」をH20年4月に設立。子ども農山漁村交流プロジェクト事業や、本会の目的を達成するため必要な事項の実施等。(国頭村)
 - 沖縄県やんばる観光連絡協議会(北部圏域内)や町観光連絡協議会で関連機関との意見交換を行なっている。(本部町)
 - 平成19年度は、市内の観光関連事業者を委員とする「観光まちづくり意見交換会」を開催し、その内容を「沖縄県観光まちづくり指針」に盛り込んだ。
平成20年度も継続して「観光まちづくり意見交換会」を開催するとともに、世界遺産市町村と連携し、世界遺産関連事業を展開する予定である。(那覇市)
 - 本島南部市町村の観光担当部署で形成する「南部地域市町村観光振興連絡協議会」で定例で意見交換会等を開催している。市内の観光有識者会議を年に2回開催している。(糸満市)

- 既存の沖縄県やんばる観光連絡協議会をより発展させ、市長村間の行政や観光協会、商工会、民間など地域ぐるみの受入れ体制を強化していく。(伊江村)
 - 八重山圏域3市町及び沖縄県八重山支庁並びに地域観光協会、観光関連業者が連携し、「八重山ビジターズビューロー」として、圏域への教育旅行の誘致、台風時対策事業の立ち上げ、県域内における観光動態及び波及効果の調査、観光感謝の集いなど積極的な活動を行っている。(竹富町)
- 「1. すでに連携して取り組んでいる」場合の事例(事業者)
- 自ホテルと国頭村スポレク公園をセットに、やんばる地域全体をアピールし、スポーツ合宿(プロ野球、大学・高校野球、サッカー、陸上競技、ソフトテニス、パークゴルフなど)を協力して取り込み強化中。また森林セラピー、エコツアー等も現在詰めている所。
(国頭村／ホテル)
 - 地域観光を結びブランド商品と開発をする。又地域各種団体の連携
例)①アセローラの町創り
②カツオの町創り
③台風ボランティア
④観光協会とのお客様の連携
⑤観光協会、各エージェント、海洋博公園との連携でイベントの誘致と参入事業推進
(本部町／ホテル)
 - 1、海洋記念公園と連携し、諸事業(EX、海開き、ゆうもどろの花の宴 その他)を共催し、祭の内容充実、お客様の満足度を高め地域へのメリットにつなげている。
2、平成21年は特に記念公園と共催で沖縄県の観光OFF期対策(6月)について、エージェントの協力を得て強力にイベントを開催したいと只今計画中である。(伝統文化、芸能、食を主とする内容とする)
(本部町／観光協会)
 - 地域生産農家から協力を得、商品開発をおこなっており、毎年1回地域の生産農家及び行政や関係機関を招待しイベントを実施(名護市／観光施設・土産品等)
 - ・名護市観光協会との連携で宿泊参加型ビーチクリーン活動
・飲食業と農家で立ち上げたやんばる料理研究会で、地産地消の推進
・今後はMICEの受入れを地域で取り組めるよう、点と点をつなげたい。(名護市／ホテル)
 - 今年はイルミネーションにカーボンオフセットを導入し、CO2の削減へ寄与し、将来的に地産地消をカヌチャリゾート内で実現していきたい。
カヌチャリゾートの所在地の安部区、汀間区、三原区、嘉陽区の4区長と連絡協議会を開催し、地域との連携を図っている。
また、イベントに地域住民を招くことで地域の住民へ還元している。(名護市／ホテル)
 - ①恩納村むら興し協議会観光促進部会、副部長として取り組み中
②沖縄体験型観光推進協議会代表幹事兼修学旅行誘致部会長とに取組中
③恩納村ふれあい体験学習センター指定管理者として村内外の行政、民間担当者との勉強会や視察案内

(恩納村／アクティビティ)

- ・修学旅行の沖縄市への必要性をはかる為
市街地活性の一環として、市運営施設を積極的に利用する。新たな商品プランなどを打診している。
 - ・国際観光、会議などの誘致市としてある沖縄市と共に同じく市運営施設または同市民間施設を用いて、宿泊施設という立場から、どのように受け皿として対応できるか常にMTGを行っている。
 - ・市活性として、コミュニティバスの有効利用案の打診を行っている。(沖縄市／ホテル)
- ・地域住民と共同清掃
 - ・地域密着型イベント等の企画(那覇市／ホテル)
- ・長寿県沖縄として、地域の皆様が利用できるディサービスを週1回実施しております。
 - ・料理メニューに地産地消料理を取り入れ沖縄の食文化を広めています。(那覇市／ホテル)
- 当ホテルが所在する前島地区は風俗店を含めた飲食店が多く、昼夜を問わない営業を行っている店舗もかなり見受けられる状況です。特に夜半からは風俗店からの呼び込み(誘客)人が多数徘徊するようになり、当ホテルを含めた地域全体の環境悪化を招いているところがあります。環境の改善を目指して、地域自治会及び警察との連携により地域内の深夜巡回と啓蒙活動を6年ほど前から定期的に行っており、当ホテルとしても微力ながら本活動に協力しているところでもあります。(最近はやや怠っておりますが・・・)(那覇市／ホテル)
- 地域で行なわれる行事や祭等を企画商品として造成してお客様をご案内することで、地域興しやまちづくりに寄与できるものと考え取り組んでおります。(那覇市／アクティビティ)
- 市とは観光振興を目的に地域の情報発信や観光客誘致の対策を協調、連携して取り組んでいる。

また、地域の農家や漁協関係者と連携し、農業体験やウミンチュ体験など新たな体験プログラムを開発。地域とのふれあいを通して観光の魅力づくりに取り組んでいる。(南城市／観光施設・土産品等)
- 「民家体験泊事業」
 - ・修学旅行生の民家体験泊を受入れを地域住民にお願いし、年に数回クリーンキャンペーンを実施等、環境美化に務めている。
 - ・行政にはパンフレット作成の図案・構成等協力して頂いている。(伊江村／観光協会)
- 宮古島の観光産業はオール宮古島で取り組んでいる。(宮古島市／観光施設・土産品等)
- 地元就学者(中・高校生)、インターン研修の積極受け入れ
地元祭事への参加(石垣市／ホテル)
- 竹富町観光協会、竹富町主催の『島学校』3泊4日コース、受入れの地元発信型のツアーです。(竹富町／民宿・ペンション等)
- 平成20年度「地方の元気再生事業」において採択され、国内のみならず海外(台湾)への誘致に向けて行政、事業者が一体となるべく、会議を行ったり専門家を招聘しての勉強会を開くなど現在は島全体がまとまりつつあります。今回のみではなく今後も継続して「観光」というキーワードでまとまっていく事を最大課題として取り組んでいます。(与那国町／ホテル)

・「4. 取り組みたいができない」場合の理由

- 日常業務に追われてそのような課題に目を向ける事ができる状態にないのが現状である→経営の安定化(名護市／観光施設・土産品等)
- 具体的方向性がよく分からないのとリーダーシップをとる人(または団体)が誰かよく分からない。具体的方向性、具体的方法、各団体の役割等が分からない。またその情報がシェアされているように思えない。(名護市／ホテル)
- 説明会情報とかない為くわしくわかりません(うるま市／民宿・ペンション等)
- ・ネットワーク強化しないと出来ない
 - ・沖縄県内企業だけで行う事は難しい(浦添市／観光情報)
- 社内の全部署が年度及び月々の業績予算(目標)達成に追われている。(那覇市／ホテル)
- 地域住民が誇りを持てる活力に満ちた社会の実現は経済力があって出来る事ではないかと思う。観光課で県民一人々が、観光について考えを出し合い地域組織を作り、課の計画の下で県民全体で取組む事により沖縄観光の光が見えて来るのではないか？(那覇市／ホテル)
- 日々の業務で手一杯。取組む時間がない。(那覇市／ホテル)
- 日々の業務遂行におわれ新しい計画の立案や方針が定まらない。
 - ・将来の望ましい規模を計れない
 - ・将来の展開の方針が定まっていない(糸満市／観光施設・土産品等)
- 観光協会等、集まりなど行えない子供が幼すぎて今の所時間がない。今後は、参加していきたいと思っています。(宮古島市／民宿・ペンション等)
- 民間依存ではなく、行政の主導力を強化すべく体制を整備し、官民一体となって取り組む基盤作りが必須条件である。

県の計画に基づき、各地域において温度差なく推進していくための役割区分を明瞭にしなければならぬ。(石垣市／ホテル)
- 各々の施設は、それなりに取り組んでいると思うが、地域として統一されたコンセプトがないまま来ている。観光協会など、連携しているように見えるが引っ張っていく力がなく、「まちづくり」等に関してはバラバラな感がある。地域の中で誰が何処に導くのかを明確にしていけないと思う。(石垣市／飲食)
- 小規模個人事業所であるため、時間やスタッフが確保できません。(石垣市／民宿・ペンション等)
- 地域の連携の組織がしっかりと機能しているようには思えない。(竹富町／民宿・ペンション等)
- 協会等には参画しているが具体的な推進策が不明瞭、また連携が良く取れていない。(竹富町／ホテル)
- 小規模の為、行動が困難(浦添市,北谷町／民宿・ペンション等)
- 観光が第3次産業としてだけ捉えられている現在、第1次、第2次産業が全て関わっているという意識を植え付けることが大事なことで、誰がリーダーシップをとって上記の件に取り組むのかもうちよつと真剣に考える必要がある。(広域／旅行会社・旅連等)
- どの様に取り組んでいいのか、窓口等がわからない(広域／交通)

2.5 他の産業との連携について

- 観光と他の産業の連携については、市町村のみの設問とした。

[市町村]－問8 貴市町村において現在もっとも主力となっている産業は何ですか？ **3つまで**お書き下さい。

例：[農業(パイン)] [水産業(もずく)] [観光業(民泊)]

[市町村]－問9 観光まちづくりの推進には、観光と他産業の連携が重要だとされています。貴市町村においては、現在の主力産業と観光を連携させることは可能だと思いますか？ その場合、どのように連携すればよいとお考えですか？

市町村	主力産業	主力産業と観光産業の連携方法
国頭村	建設業(土木) 観光業 農業	
大宜味村	シークアースター パパイヤ 大和そば	
東村	農業(パイン) 観光(エコツーリズム、グリーン・ツーリズム) 観光(観光施設、宿泊)	農業と観光の連携を重視している。 観光客が農業物を購入する機会を増すような仕組み作り。
今帰仁村	農業(きく) 1億 農業(スイカ) 8億4千 農業(畜産<牛>)	農業民泊や農業体験等の体験滞在型観光を受け入れる組織作り
本部町	観光 農業 漁業	総合産業といわれている『観光』を町全体で取り組む住民の意識作り
名護市	商業(卸小売業) 農業(鶏) 観光業(観光施設)	庁内に連絡会議を設け、関係部署間の情報共有を図り、活用可能な補助事業の検討や体験型観光の推進を図るための関係者との調整などを行い、関係機関・団体と意見交換を行ないながら具体的な連携内容について調整を図っていくことが必要である。
恩納村	観光産業 水産+マリンレジャー 農業	観光と水産業(マリンレジャー・体験) 観光と農業(体験・観光農園)
宜野座村	農業 水産業 スポーツキャンプ地、交流	官民一体の観光推進協議会を主体に連携を図る。
金武町	農業(田芋、花キ) 畜産物(養豚) 水産業(海ぶどう、もずく)	体験観光、民泊の受入れに伴い、地元製品の活用(収穫体験沖縄料理体験)を積極的に行ないたい。
うるま市	農業(野菜・花卉) 水産業(もずく)	希少性のある対象なら可能性はあるだろう。もずくなら養殖物ではなく天然を探すツアー。農業なら熱帯性のヤマモモの植え付けから収穫までを商品にしたツアーなどできるだけ自然を表に出したものが良い。ただしそれだとマストツーリズムにはならないだろう。
沖縄市	小売業 飲食サービス	小売業や飲食業をはじめとする第3次産業が9割以上を占める本市において、芸能文化やスポーツコンベンション等の地域資

	農業	源を活用した観光の振興による地域経済の活性化は重要な施策のひとつである。 芸能・スポーツ等の地域資源や農林水産業との連携による新たな観光メニューの開発やホスピタリティーの向上、観光情報の発信等、地域一体となった観光地づくりを推進するため、事業者の観光意識の高揚や観光交流えお活性化させるための取り組みが必要。
読谷村	農業(紅芋・メロン) 水産業(もづく) 観光業{民泊・むら咲むら(テーマパーク)}	
嘉手納町	農業(いも栽培) さとうきび みかん	
北谷町	観光業 商工業 水産業	問3で回答した北谷町フィッシャリーナ整備事業では、フィッシャーマンズワープなど水産業と連携したまちづくりが取り入れられている。 また、北谷町美浜アメリカンビレッジは商業を目的として埋立された地域だが、現在は北谷町の観光スポットとして県内外へ注目されているため、商業・観光業が連携したまちづくりが構築されていると考える。
中城村	農業(島ニンジン)	
宜野湾市	リゾートホテル 飲料(ペプシ) 農業(田イモ)	・マリン支援センターでマリン体験する修学旅行生等への食材提供(特産品の田イモ、海ぶどう等海産物・宜野湾漁協) ・コンベンションセンターでの国際会議に出席する方々への宿泊施設への誘導、又は、健康やライフスタイルにこだわりを持つ人々に新しい余暇スタイルの提供(問3記入した施設との連携)
浦添市	卸売・小売業(車販売、大規模小売店舗、その他) 製造業(セメント、ビール、その他飲食料品) 電気	可能。 主力産業に「沖縄らしさ」があれば観光資源となりえるので、その場合観光商品化・情報発信等を役所・観光協会・事業所が連携を取り進めて行けば良いと考えます。
那覇市	卸売り・小売業 飲食店・宿泊業 医療・福祉	本市では、主力産業に観光客の消費が向けられ、観光と他産業の関係が密接です。新しい試みとして、ガイドが行う着地型観光メニューの中で、伝統工芸の工房での製作体験などを始めています。この場合、那覇市が養成したガイドがNPO法人化し、観光協会が第3種旅行業を取得し、観光協会が着地型観光メニューを作り出す中で、ガイドと伝統工芸の組み合わせを創出したものです。
与那原町	水産業(ひじき) 工芸品(赤瓦)	地域の観光資源の発掘・活用促進の方策、地域リーダーの育成及び観光振興へ向けた地域ビジョンを明確化など観光を通じた地域振興へ向けた多様な主体(行政、地域関連業者、地域住民、商工業者、農林産業者)と十分に連携できる推進体制の構築が必要である。
南風原町	農業	民泊事業に農業を関連させたい。
豊見城市	農業(マンゴー、ゴーヤ、トマト、チンゲンサイ) 製造業(泡盛、金属製品) 漁業(ひき縄釣、採藻)	グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進。 道の駅豊崎に隣接する地域振興施設における特産品販売。 地元特産品を使用したお土産開発(農商工連携)。 市内に立地する宿泊施設への地元特産品提供。 泡盛酒造所見学。
南城市	農業(オクラ、ゴーヤー、サヤインゲン) 水産業(もづく) 観光業(おきなわワールド、斎)	体験滞在型観光の体験プログラムに取り入れる 民宿→地場製品の料理体験 カフェ→地場製品を利用したメニュー開発

	場御嶽、民宿、カフェ)	
八重瀬町	農業(イモ・ピーマン・和牛) 水産業(モズク)	地域の産業の体験を通し、景観を活かしてエコツーリズムを推進する。 独自性を活かすために地域住民の生の声を聞かす。(昔の生活の仕方、都会にはない新鮮さを)
糸満市	観光業(ビーチ・観光農園) 農業(ゴーヤー・レタス・ニンジン等) 水産物(シーイカ)	糸満市は第一次産業が盛んで、今後グリーンツーリズム・ブルーツーリズム・エコツーリズム・民泊事業等の体験型観光を促進する。
伊平屋村	農業(稲作) 水産業(モズク) 観光業(ムーンライトマラソン)	①農林水産業と連携した体験型観光 ②イベントとタイアップしたボランティアステイ
伊是名村	農業(サトウキビ・野菜) 水産業(もずく) 畜産業(和牛)	観光振興は村経済の先導的な位置づけであり、入域客(観光客)増加により、直接的経済効果や、他産業への波及効果が期待できる。
伊江村	農業(畜産、葉タバコ、花卉) 観光業(民泊) 水産業(そでイカ)	近年体験・交流型の観光を要望する旅行者(社)が多く、本村では、現在民家体験泊を実施している。受け入れ先の家業は農・漁業が多く、家業を手伝いながら村の歴史、文化、産業を学べる機会として好評を得ているので、是非とも連携は必要である。
渡嘉敷村	観光事業 農業(米作) 水産業(マグロジャッキー等)	現地で生産、加工された農水産成果物等を特産品として来社された観光客等のお土産品として地産地消を推進する。
栗国村	農業(さとうきび) 農業(もちきび) 水産業(加工品)	農業体験との連携
久米島町	観光業(体験・滞在事業) 農業(さとうきび) 商業(卸・小売業)	①農業:観光農園、宿泊施設への農産物納入(地産地消)、農産物加工、朝市 等 ②水産業:釣り観光(遊漁船)、宿泊施設への農産物納入(地産地消)、農産物加工、朝市 等 ③製造業:特産品加工による商品開発(お土産品)
北大東村	[農業(サトウキビ)]	
南大東村	農業(さとうきび)	体験交流(農業・自然・文化)
宮古島市	農業(サトウキビ・マンゴー) 水産業(もづく)	観光まちづくり推進の為に市民の力が必要となります。市民と連携した農業・郷土料理・工芸等、様々な体験と交流を中心とした観光まちづくりに力を入れます。
多良間村	農業(さとうきび) 畜産(肉用牛) 水産(塩)	島全体を博物館と見立て、自然や文化の保全、活用による地域活性化をねらいに、8月盆踊り会場周辺など整備
石垣市	観光業(宿泊他) 農業(パイン、パパイヤ、石垣牛) 水産業(もずく他)	他産業の魅力を高めることが観光資源となる。
竹富町	農業(サトウキビ) 観光業(交通) 観光業(宿泊)	連携は可能。特に島嶼行政区である本町においては各島間の連携を前提とし、観光を基軸とする各資源の流通(ネットワーク化)及びその連携拠点づくりによる地域総合産業の創出が不可欠である。
与那国町	農業(さとうきび、水稻、畜産) 水産業(カジキ)	農業、漁業者と観光業者の連携が必要だと思う。

2.6 市町村の観光関連体制

- 各市町村において、観光を扱う部署の名称と規模をお聞きした。

[市町村]一問10 最後に、貴市町村での観光振興の担当部署と規模(人数)をお聞かせ下さい。

#	市町村名	観光振興の担当部署名	規模(人数)
1	国頭村	企画商工観光課	9
2	大宜味村	企画観光課	4
3	東村	企画観光課	3
4	今帰仁村	経済課	2
5	本部町	企画商工観光課	3
6	名護市	産業部商工観光課観光係	2
7	恩納村	商工観光課	4
8	宜野座村	企画課	4
9	金武町	産業振興課	11
10	うるま市	観光課	8
11	沖縄市	文化観光課	6
12	読谷村	商工観光課	3
13	嘉手納町	建設部 産業振興課	1
14	北谷町	建設経済部 経済振興課 商工観光係	4
15	中城村	企業立地、観光推進室	3
16	宜野湾市	商工振興課	3
17	浦添市	商工産業課	11
18	那覇市	観光課	10
19	与那原町	企画総務課	1
20	南風原町	まちづくり振興課	10
21	豊見城市	企画部商工観光課	7
22	南城市	観光・文化振興課	14
23	八重瀬町	総務課	1
24	糸満市	観光政策室	7
25	伊平屋村	総務課	3
26	伊是名村	観光振興課	5
27	伊江村	商工観光課	5
28	渡嘉敷村	経済建設課	2
29	粟国村	経済課	1
30	久米島町	商工観光課	5
31	北大東村	経済課	6
32	南大東村	産業課	4
33	宮古島市	経済観光商工課	7
34	多良間村	総務財政課 観光係	
35	石垣市	観光課	5
36	竹富町	商工観光課	4
37	与那国町	総務財政課	2

3. 資料編

3.1 問7. 市町村及び事業者の広域連携・地域連携に関する取り組みの実態

- 各市町村とその市町村で事業を行う事業者の広域連携・地域連携に関する現状および認識を、市町村単位で整理した。

【本島北部】

(1) 国頭村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

国頭村、大宜味村、東村の3村で「やんばる交流推進連絡協議会」をH20年4月に設立。子ども農山漁村交流プロジェクト事業や、本会の目的を達成するため必要な事項の実施等。

◎在国頭村の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

自ホテルと国頭村スポレフ公園をセットに、やんばる地域全体をアピールし、スポーツ合宿(プロ野球、大学・高校野球、サッカー、陸上競技、ソフトテニス、パークゴルフなど)を協力して取り込み強化中。また森林セラピー、エコツアー等も現在詰めている所。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ①スポーツイベントによる交流人口を推進する。
- ②エコツアー関連の旅人を招く

(2) 大宜味村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

◎在大宜味村の事業者の回答

なし

(3) 東村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

国頭、大宜味、東村の3村の連携による農業体験等の受入れ(子供農山漁村交流プロジェクト)。

◎在東村の事業者の回答

なし

(4) 今帰仁村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

第2次観光リゾート振興計画の策定(平成20年度)

◎在今帰仁村の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

地元(今帰仁産)の食材をうまく調理し、食された方の全てが喜んでいる飲食店が数ヶ所近年営業を始めています。

ただふっとのれんをくぐって、食してラッキーが殆どで、お店の個性が切り口となって誘致している現状では無い所にもどかしさを感じています。

ホテルが周知へのパイプとなり、お互いに利を上げられるようにと協力体制を作りつつあります。(当然、お客様へのサービス、満足への追及ありきで)

また世界遺産・古宇利大橋の桜まつりETC、今帰仁村の観光資源をもっと活用し、村おこしについても自地体との協力を図っています。(マダマダですが…)

(5) 本部町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

沖縄県やんばる観光連絡協議会(北部圏域内)や町観光連絡協議会で関連機関との意見交換を行っている。

◎在本部町の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

1、海洋記念公園と連携し、諸事業(EX、海開き、ゆうもどろの花の宴 その他)を共催し、祭の内容充実、お客様の満足度を高め地域へのメリットにつなげている。

2、平成21年は特に記念公園と共催で沖縄県の観光OFF期対策(6月)について、エージェントの協力を得て強かにイベントを開催したいと只今計画中である。(伝統文化、芸能、食を主とする内容とする)

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

地域観光を結びブランド商品と開発をする。又地域各種団体の連携例)①アセローラの町創り

②カツオの町創り

③台風ボランティア

④観光協会とのお客様の連携

⑤観光協会、各エージェント、海洋博公園との連携でイベントの誘致と参入事業推進

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

本部町観光協会に所属し、協力している。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

・MICEの誘致促進を地域と共に取り組みたいと思う。

・地域資源を活用したニューリズムのコンテンツづくり。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

沖縄の海の現状。

地域だけのクリーン活動だけでは現状維持も厳しい。

北部の信号機などの増設(名桜ボウル前・八重岳入口)

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

これからは地域を1つのテーマパークとして1社だけではなく、地域ぐるみで観光客を誘致していく組織が必要であり、又現在の観光は流れが速いのでその流れに対応していける組織作りをしていきたい。

2009年にはやんばるをテーマにプチ農業体験や地元の人たちとの触れ合い体験を簡単にできるように商品を増やしていき、各旅行社に商品化していく。

(6) 名護市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

やんばる観光連絡協議会を通じた情報交換及びやんばるイベントカレンダーの作成を行なっている。

◎在名護市の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

名護市が第4次名護市総会計画街づくり懇話会を立ち上げ市民と意見交換を通して総合計画素案の作成を行なっています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

・名護市観光協会との連携で宿泊参加型ビーチクリーン活動

- ・飲食業と農家で立ち上げたやんばる料理研究会で、地産地消の推進
- ・今後はMICEの受入れを地域で取り組めるよう、点と点をつなげたい。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

今年はイルミネーションにカーボンオフセットを導入し、CO2の削減へ寄与し、将来的に地産地消をカヌチャリゾート内で実現していきたい。

カヌチャリゾートの所在地の安部区、汀間区、三原区、嘉陽区の4区長と連絡協議会を開催し、地域との連携を図っている。

また、イベントに地域住民を招くことで地域の住民へ還元している。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

地域生産農家から協力を得、商品開発をおこなっており、毎年1回地域の生産農家及び行政や関係機関を招待しイベントを実施

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

名護市の中心市街地整備ならびに再開発の事業に協力しております。

■業種: 観光協会

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

名護市ややんばるの市町村の各地区区長や婦人会との連携を図り、地区のローカルな話題、新しい体験メニューや地域の特産品の発掘等、それらの情報を旅行代理店へ発信、弊社HP等で案内していく予定

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

- ・MICEの誘致促進を地域と共に取り組みたい。地域行政とタイアップしたビーチクリーンなど
- ・地域資源を活用したニューツーリズムのコンテンツ作り

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

当社そばの名桜大学や北部農林高校などの学校との連携をもって地域振興に寄与したい。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

観光協会や地元と協力体制をとり、まちづくりに参画する。これまでとは違う試しを行い、観光客が親しみやすい体制を整えて行く。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

地域の老人会、婦人会、青年会、有志とホテルの協力の基、漁業、沖縄料理、伝統芸能、工芸などを宿泊客が参加、体験できるシステムの構築を図りたい。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

北部地区にてやんばる観光推進機構を設立する予定があります。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

具体的方向性がよく分からないのとリーダーシップをとる人(または団体)が誰かよく分からない。具体的方向性、具体的方法、各団体の役割等が分からない。またその情報がシェアされているように思えない。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

日常業務に追われてそのような課題に目を向ける事ができる状態にないのが現状である→経営の安定化

(7) 恩納村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ・観光人材育成(研修)
- ・村一円の環境対策(植栽、クリーンアップ)
- ・英会話教室

◎在恩納村の事業者の回答

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

恩納村むら興し協議会へ参加し観光村として整備事業などを支援している。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ①.スポーツコンベンションの取り組み
- ②.地域道路整備計画検討委員会への参加(仮称:緑の回廊)
- ③.文化体験施設(恩納村ふれ愛センター ゆいゆいおんな)への協力
- ④.道の駅(恩納の駅 なかゆくい)への出資
- ⑤.各種美化活動への協力
- ⑥.地域各種祭事・行事への協力
- ⑦.その他

■業種: アクティビティ

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ①恩納村むら興し協議会観光促進部会、副部長として取り組み中
- ②沖縄体験型観光推進協議会代表幹事兼修学旅行誘致部会長とに取組中
- ③恩納村ふれあい体験学習センター指定管理者として村内外の行政、民間担当者との勉強会や視察案内

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

重要な点だとは思いますが、県内ホテルの従事者の給与が安く、ホテル離れで良い人材確保が厳しいのが現状だと考えています。

小さな事から一步一步展開して頂きたいです。

公的機関が優先的にやるのはおかしいです。

現場の人間、経験者を各地域に導入して下さい。

基本的な事が間違っていると思います。

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(8) 宜野座村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

行政と地域、観光事業者と観光推進協議会を設置したが今後力を入れていきたい。

◎在宜野座村の事業者の回答

なし

(9) 金武町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

体験観光の拠点施設をNPOに指定管理を行なっている。また、環金武湾(うるま市、宜野座村)との連携を行いQOL事業を推進中。

◎在金武町の事業者の回答

なし

【本島中部】

(10) うるま市

◎市町村の回答

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

◎在うるま市の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

うるま市観光課、各施設、代理店等参加し、うるま市内の観光資源の発展、ルート作成、アクティビティについて検討を進めている。既にモニターツアー等を年度末より実施。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

中部唯一の離島なので観光に関しては考える事が多々あります。

うるま市観光課、地域との連携をとりながら地域ぐるみの観光振興にむけての取組みが必要だと思っています。具体的な事はこれからうちだしていく所です。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

地域＝市町村より、県全体の計画の柱を観光地域の特色別ブロックへ落として、県の流れと地域の計画実態が一致していないと感じる為 又行政と民間が同等ではない。インフラ基礎整備に徹するのが良いと感じる。

■業種: その他

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

弊社は食品製造が主な事業であり、観光産業との関係は少なく、現状では特に予定はない。しかし、洋ランの生産販売では県内ホテルや空港などのディスプレイなどで連携していくことは可能であると思われる。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

説明会情報とかない為くわしくわかりません

(11) 沖縄市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

沖縄国際会議観光都市推進連絡協議会を設立(那覇市、浦添市、宜野湾市と本市で構成)し、コンベンションの誘致、支援など共通の事業に取り組んでいる。

◎在沖縄市の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

現在の沖縄観光をとりまく環境の中で、特に本土系、系列系外資のホテルの進出が目立つ。もっと地元中小ホテルが活躍できる場が欲しい。こんままでは沖縄の観光が急進的な伸びを示しても、先のホテルに利益が誘導され地元資本は淘汰されるのではないかと危惧する。あまり急がず、地に足を着け底力のある観光地になる事を望みたい。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

沖縄市アグリビジネス基本計画、策定委員会への参加

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

・修学旅行の沖縄市への必要性をはかる為

市街地活性の一環として、市運営施設を積極的に利用する。新たな商品プランなどを打診している。

・国際観光、会議などの誘致市としてある沖縄市と共に同じく市運営施設または同市民間施設を用いて、宿泊施設という立場から、どのように受け皿として対応できるか常にMTGを行っている。

・市活性として、コミュニティバスの有効利用案の打診を行っている。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

- ①社員に県内観光地を熟知させる。
②地域でのイベントに積極的に参加し自分達のまちを十分理解し、人々との繋がりを構築する。

■業種: その他

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

自動車学校の業務上、会社として観光分野に直接関わることはないが、個人的には非常に興味があり、積極的に取り組もうと考えている

(12) 読谷村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

◎在读谷村の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ・指定管理制度活用
- ・民泊協力

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

近隣漁協との協力体制での主張の受入れ

近隣飲食店へのお客様への紹介や、パンフレット設置等

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

施設や宿泊の事業所単体ではなく、読谷村というゾーンで集客をはかり、民泊、各種体験など地域住民とも連携し滞在してもらえるような仕組みづくりを考えています。

読谷村観光協会、読谷村商工会観光部会のメンバー中心。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

残波ビーチのリーフには、県内でも有数のむらさきサンゴの生息地ではありますが、ご多分にもれず、白化現象が起きており、企業、自治体と協議・協力し、サンゴ移植活動を行い、美しいビーチの保全を行いたいと思っております。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

所在地にあたる、読谷村と沖縄県の特産品を利用した県産品を考案し、販売することを検討中。

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答:

具体的な内容が不明。

内容を確認次第、対応できるもの、協力できるものは前向きに協力してまいりたい。

(13) 嘉手納町

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

第4次総合計画に位置付けて行く

◎在嘉手納町の事業者の回答

なし

(14) 北谷町

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

既存の取り組みとして、沖縄県が主催した「観光まちづくり意見交換会」にて、観光協会、商工会、観光関連事業者と意見交換を行った。

また、観光協会や商工会を通じて、観光関連事業者等の意見の情報収集にも取り組んでいる。

広域連携については、現在は実施していないが、観光客の滞在日数や来訪者数を増やすには、今後近隣市町村と連携をとる必要があると考える。

◎在北谷町の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

【行政との連携】

観光客誘致事業・観光振興事業委託料の計上

北谷町観光協会運営補助金の拠出

北谷町観光協会員担金(会費)の拠出

中日ドラゴンズ北谷協力会 関連

・歓迎セレモニーの実施

・応援ツアーの実施

・会費の拠出

シーポートちやたんカーニバル関連

・運営委員の派遣

・補助金の交付

【地域及び各種団体との連携】

共催・公園・協賛の実施

(北谷町漁業協同組合・美浜アメリカンビレッジ事業者会・協会会員)

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(15) 北中城村

◎市町村の回答

なし

◎在中城村の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

EMを利用した健康に関する施策

(16) 中城村

◎市町村の回答

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

◎在中城村の事業者の回答

なし

(17) 宜野湾市

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

宜野湾市、北中城村、中城村、西原町の広域連携で、世界遺産(中城城跡)を活用した観光ルートの開発や体験観光ルートの開発のためのアクションプログラムの策定するも、実現に至っていない。しかし今後取り組み課題としたい。

◎在宜野湾市の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

- ・コンベンションセンターとの連携
- ・トロピカルビーチでのパーティープラン
- ・宜野湾海浜公園の整備
- ・宜野湾マリーナ発着のクルージングプラン
- ・他、周辺地域を絡めた、マリンプランやダンスショー体験・ライブ鑑賞等

- 業種: その他
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

(18) 浦添市

◎市町村の回答

- 問6の回答: 未回答
■問7の回答: 未回答

◎在浦添市の事業者の回答

- 業種: 観光施設・土産品等
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答:
花いっぱい運動など

- 業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:
小さなホテルに団体客の受け入れが出来ない。
那覇市内のホテル建設が増え、個人客も減少している。
浦添市内に目玉になる観光施設がない。

- 業種: 観光情報
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:
・ネットワーク強化しないと出来ない
・沖縄県内企業だけで行う事は難しい

- 業種: その他
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答:
規制が厳しく思うように前に進まない

(19) 西原町

◎市町村の回答

なし

◎在西原町の事業者の回答

- 市町村: 西原町
- 業種: 観光施設・土産品等
- 問6の回答: 5.わからない
- 問7の回答: なし

【那覇】

(20) 那覇市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

平成19年度は、市内の観光関連事業者を委員とする「観光まちづくり意見交換会」を開催し、その内容を「沖縄県観光まちづくり指針」に盛り込んだ。

平成20年度も継続して「観光まちづくり意見交換会」を開催するとともに、世界遺産市町村と連携し、世界遺産関連事業を展開する予定である。

◎在那覇市の事業者の回答

- 業種: 旅行会社・旅連等
- 問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
- 問7の回答:
旅連として県の目標とする1,000万人を達成させるべく、県、ビューロー、未来を考える会と連携となり様々な取組みをしています。
(那覇空港滑走路、カジノエンターテインメント、MICEのインフラ整備等)

- 業種: その他
- 問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
- 問7の回答: なし

- 業種: ホテル
- 問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ・長寿県沖縄として、地域の皆様が利用できるディサービスを週1回実施しております。
- ・料理メニューに地産地消料理を取り入れ沖縄の食文化を広めています。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

沖縄県の目標とする観光客年間1000万人を達成すべく、トップツアー・トップ会沖縄支部として、県観光商工部、OCVB、未来を考える会などと連携をとり、様々な取り組み(那覇空港平行滑走路早期着工、カジノエンターテインメントの誘致、MICEインフラ整備の推進)をしています。

■業種: その他

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

仕事柄、県内各地の地域振興のお手伝いをさせていただいています。

具体的には、エコ、グリーン、ブルーなどのニューツーリズムの推進に必要な体験型観光のプログラムづくりや受入母体の設立といった地域の協働体制づくりに関するサポートをさせていただいています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ・地域住民と共同清掃
- ・地域密着型イベント等の企画

■業種: 観光情報

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

密度の濃い情報を以下に発信するか。そのコストも含めてさらに取組んで行きたい。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

当ホテルが所在する前島地区は風俗店を含めた飲食店が多く、昼夜を問わない営業を行っている

店舗もかなり見受けられる状況です。特に夜半からは風俗店からの呼び込み(誘客)人が多数徘徊するようになり、当ホテルを含めた地域全体の環境悪化を招いているところでもあります。環境の改善を目指して、地域自治会及び警察との連携により地域内の深夜巡回と啓蒙活動を6年ほど前から定期的に行っており、当ホテルとしても微力ながら本活動に協力しているところでもあります。(最近はやや怠っておりますが…)

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

国際通りトランジットモールへの協力

通り会における那覇マラソンのボランティア活動

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

●地元通り会・公安機関と組み「地域安全ロンタ」を立ち上げる予定

●某団体全国大会にむけての実行委員会へ役員として派遣

■業種: 教育関係

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

専門学校なので

文科省を委託を受け、観光コーディネータ人材の育成について講座を実施し、また、教材を開発しています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

沖縄人材クラスタ研究会主催である「観光核人材育成事業・観光産業と沖縄の事を体系的に学び就業のチャンスをつかむインターシップ」での議義受入れや、(財)雇用開発促進機構による高校生を受入れてのジョブシャドウイングを実施した。

※ジョブシャドウイング: 観察者(メンター)が我々の日々の業務を影となって体験し、インターシップ前の体験学習。沖縄県のグッジョブ運動普及モデル事業の一環。

■業種: その他

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

ビルメン協会挙げてボランティア清掃を那覇市で年2回開催している

■業種: 観光情報

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

ツアーランドやタビンチュ事業そのものが、地域の観光事業主様への集客を強化し、地域の発展のための地域貢献サービスとしての位置づけであります。

旬の地域情報を地域に住むスタッフが事業主様と一体となり発信し続けることを続けて参ります。

■業種: 観光情報

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

アーストリップでは、糸満市やNPOと共に、サバニと海人文化の保全活動に取り組んでいます。

人々に糸満を訪れていただき、サバニと海洋文化を伝え、体験することで保全活動をするとともに、それらをコンテンツとして、商品企画・販売をして発信することで、魅力ある観光まちづくりへと推進しています。

また国頭村とも共に、やんばるの自然を体験する商品企画・販売をしております。

■業種: アクティビティ

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

地域で行なわれる行事や祭等を企画商品として造成してお客様をご案内することで、地域興しやまちづくりに寄与できるものと考え取り組んでおります。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

沖縄で取れる食材の確保

サンゴの植え付け等

■業種: 飲食

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

健康ビジネス支援事業の取組みとして県産食材を使った地産地消の健康ヘルシー弁当の開発を進めております。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

利便性を生かした国際通り近辺施設(飲食店舗、観光施設など)とのタイアップによる活性化とお客様の安全性を含めた企画商品の展開をしています。壺屋やちむん通りや焼き釜の探索体験ツアー

の実施と現在那覇市観光協会主催のガイドと巡る壺屋ツアーの販売代行を行っています。那覇の台所「公設市場」への県産食材をお客様が購入し、ホテルへ持ち込み和・洋・中各レストランでお好みの調理をし提供する企画も次年度再取り組みの予定です。又安里近隣には昔ながらのライブハウス、最近若者向けの店舗が多い栄町(市場)新企画を考案中です。まだ広域連携とまではいきませんが、足元の地域から活性化に努めていきたいと思えます。地産地消、食育もテーマに地域の活性化、連携を強くしていきたいと考えています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

沖縄県の県都であり表玄関である那覇の活力に満ち溢れて風格の漂う街づくりなどの活動を中心にお手伝いしたいと思ってます。新しい奥武山球場や競技場を最大限に活用したスポーツコンベンションの誘致や既存の那覇空港の沖合い展開による大那覇空港の建設によるアジアゲートウェイ構想に大いなる期待をしています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

立地(泊港と面し)を生かし、周辺離島との連携の強化。

ダイビング等、海洋スポーツ等への中継点としての宿泊場所・情報提供等に取り組みたい。

■業種: 観光協会

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

近くの市場と協力して、魅力のある観光地を目指している最中。

■業種: その他

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

国等の補助事業を活用したホテル・旅館等の宿泊事業者支援により、宿泊施設の情報化(地上デジタル放送含)によるホスピタリティ向上に寄与する支援事業を推進したい。

■業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

■業種: 旅行会社・旅連等
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:

修学旅行の受入れについては、南部市町村の民泊（農業体験等）との地域連携が必要と思われる。

■業種: その他
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:
エコフィールドの取り組み

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:
他の県からお越しになられる、お客様に対し、安全で快適で、さらに温かみのある地域だと思い知らしめる為に、他府県で行われる、誘客キャラバンには積極的に参加を心掛けております。

■業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

■業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

■業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

■業種: 観光情報

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

今現在一企業として具体的な取組の予定はない。

しかしながら、観光立県として名を馳せてゆくには、今後『観光まちづくりの推進』や『広域連携・地域連携』については必要不可欠であると思われるので、地域住民がも簡単に取組ができる道筋を開いてほしい。

■業種: その他

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

観光対象部署がない為、具体的に対応策が取りにくい。

■業種: その他

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

アイデアがない

ネットワークがない

■業種: 教育関係

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

過去でなく現在と未来につながる文化創造が必要であり、本県のような低い文化に厚化粧をしてもいずれ立ち枯れてしまう。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

地域連携については、近い将来、道路拡幅工事が予定されており、現状ではその青写真が見えていないので取り組める状況にはない。その後については地域での連携ができればと期待している。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答: なし

■業種: アクティビティ

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

問4の回答: 取り組み方の情報が少ないし情報収集に時間がかかる為結果的に出来ない形になっている。担当者等はミクロの部分から情報も足で伝える必要がある。(会員各位がもっと団結し、アピール)活動を行えば取り組み方等・促進し、良い結果になる。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

社内の全部署が年度及び月々の業績予算(目標)達成に追われている。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

日々の業務で手一杯。取組む時間がない。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

現在、人材不足の為

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: その他

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答:

地域住民が誇りを持てる。活力に満ちた社会の実現は経済力があって出来る事ではないかと思う。
観光課で県民一人々が、観光について考えを出し合い地域組織を作り、課の計画の下で県民全体
で取組む事により沖縄観光の光が見えて来るのではないか？

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: その他

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 教育関係

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: その他

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 飲食

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答:

弊社の国際通り店で地域連携として提案したいこと。

一万人エイサー踊り隊「演者」としてAGTツアーで募集、通り会事務局、観光協会との協議。

一万人エイサーへ通り沿いに各AGT用テント(協賛)を設置する事でAGTが明確に一万人エイサーツアーを組める。

トランジェットマイルを定期化し、トローリーバスを国際通りに運行させる。

夏場の国際通り(夏休み期間中)で週数回”ストリートカーニバル”を開催。

私的な事ばかりですが、企業、行政、団体の担当者レベルで意見交換できる場があったら良いと思っています。

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: なし

■問7の回答: なし

【本島南部】

(21) 与那原町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

平成19年より、沖縄県、与那原町、西原町で構成しているマリンタウンまちづくり推進協議会を設置している。マリンタウン西原・与那原地区の開発促進をし、町並み景観、環境に配慮した魅力あるまちづくりを推進し、個性と賑わいのあるまちの形成を促進する目的で設置している。

◎在与那原町の事業者の回答

なし

(22) 南風原町

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

新たな集客・中核施設等を活かした新規ビジネスの展開促進(津嘉山北地区のまちづくり)

◎在南風原町の事業者の回答

- 業種: その他
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答: なし

(23) 豊見城市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

既存の取組

- 1.行政・市商工会・民間事業者で構成された観光まちづくりに係る意見交換会を、平成19年度より計4回実施。
- 2.南部地域の観光振興について更なる連携を図ることを目的とした「南部地域市町村観光振興連絡会議」、「なんぶ地域づくりネットワーク会議」への参加。

◎在豊見城市の事業者の回答

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答:

弊社と致しましては、何をどう取り組むべきかが不明なことで、全世界的な不景気で観光客が減っている現実に打開策を見出すことが先決な課題です。

(24) 南城市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

南部市町村観光振興連絡協議会

南部地域の観光客の誘致と観光事業の進行を図り、南部地域の経済発展に寄与するための情報交換を行なう

◎在南城市の事業者の回答

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

市とは観光振興を目的に地域の情報発信や観光客誘致の対策を協調、連携して取り組んでいる。
また、地域の農家や漁協関係者と連携し、農業体験やウミンチュ体験など新たな
体験プログラムを開発。
地域とのふれあいを通して観光の魅力づくりに取り組んでいる。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

体験プログラムの実施

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

南城市に所在する当社では、地域資源を生かして営業活動を活性化することを経営目標の一つとしている。シークアサーやグアバ、マンゴー、アセロラなど既に商品化しているが、今度、南城市の市花である「ハイビスカス」を活用して、多様な商品開発を行う計画を進めています。当社では既にハイビスカス花茶を開発し販売しています。同じ南城市にある薬草生産組合と共同で、農商工連携事業計画に申請し、去る9月に認定を受けました。今後、ハイビスカス農園を拡張して、観光客が大勢訪れる「ハイビスカスの里」作りに努力していく所存です。

(25) 八重瀬町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

南部地域まちづくり(南部市町村観光関連事務研究会)

◎在八重瀬町の事業者の回答

なし

(26) 糸満市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

・本島南部市町村の観光担当部署で形成する「南部地域市町村観光振興連絡協議会」で定例で意

見交換会等を開催している。

・市内の観光有識者会議を年に2回開催している。

◎在糸満市の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答:

■問7の回答:

①自治体の指定管理となるべく、現組織(任意団体)から一般公益法人化を進めている。

②同上の事業計画を立案中

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: なし

■問7の回答: なし

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

糸満バイパス(豊見城～糸満漁港)に建設予定の物産資料館(仮称)と共に糸満市の地域色を活かした取組みを行政と共に実施している。

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

日々の業務遂行におわれ新しい計画の立案や方針が定まらない。

・将来の望ましい規模を計れない

・将来の展開の方針が定まっていない

【本島周辺離島】

(27) 伊平屋村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

◎在伊平屋村の事業者の回答

なし

(28) 伊是名村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

観光産業を振興していく上で本村においては十分な受入れ体制ではなく、今後は地域ぐるみでの組織を整備する必要がある。

◎在伊是名村の事業者の回答

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(29) 伊江村

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

既存の沖縄県やんばる観光連絡協議会をより発展させ、市長村間の行政や観光協会、商工会、民間など地域ぐるみの受入れ体制を強化していく。

◎在伊江村の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

「民家体験泊事業」

・修学旅行生の民家体験泊を受入れを地域住民にお願いし、年に数回クリーンキャンペーンを実施

等、環境美化に務めている。

・行政にはパンフレット作成の図案・構成等協力して頂いている。

(30) 渡嘉敷村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

エコツーリズム推進協議会の設立に伴って観光関連業者との連携を図りたい。

◎在渡嘉敷村の事業者の回答

なし

(31) 座間味村

◎市町村の回答

なし

◎在座間味村の事業者の回答

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

エコツーリズム推進法に対応した対策

人材・予算不足による進捗の速度が遅いのと両歯の剣となる可能性が高い。

地元で守ってきた自然が、経済活動優先になりはしないかと危視している。

情報の発信量が少ない。情報伝達方法の地域格差がありすぎる。光ケーブルの設置を強く望む。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

1、当地区に於ける(ホテル、民宿等)宿泊業者の連携と組織化を早急に進めること。

2、ダイビングやシュノーケリング、カヤック等のマリンメニューは割合充実しており、観光事業の索引役となっているが、今度は陸域メニューの開発を関係業者が真剣に取り組む必要がある。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: アクティビティ

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(32) 粟国村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:
体験交流施設整備

◎在粟国村の事業者の回答

なし

(33) 久米島町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:
観光関連事業所および団体と連携した組織での取り組み

◎在久米島町の事業者の回答

■業種: 観光協会

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ①地域住民と連携してイベントの開催
- ②ボランティアによる美化活動(清掃・花植)

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(34) 北大東村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

◎在北大東村の事業者の回答

なし

(35) 南大東村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

体験交流事業で行い、今後継続して民間団体等に引き継ぎができるような組織づくり

◎在南大東村の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

【宮古】

(36) 宮古島市

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:
多良間村との連携

◎在宮古島市の事業者の回答

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:
冬(寒い時期)の長期滞在型保養施設計画している

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:
宮古島の観光産業はオール宮古島で取り組んでいる。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:
市の観光商工課や、観光協会が中心となり、
1 民官観光業に携わっている業界での自然を守る
2 エコアイランドを推進する
3 スポーツアイランドの確立
4 観光人材育成を行なう
5 観光情報のタイムリーな発信
を柱として動き始めています。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

観光協会等、集まりなど行えない子供が幼すぎて今の所時間がない。
今後は、参加していきたいと思っています。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(37) 多良間村

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

「田園博物館」自然伝統文化を保全活用へ

◎在多良間村の事業者の回答

なし

【八重山】

(38) 石垣市

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

八重山ビジターズビューローによる広域連携事業の実施。

◎在石垣市の事業者の回答

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

希望としては取り組んで行きたい。

地域の人々にまず認めてもらう。(ホテル開業一年も経っていないため)

石垣北部の中で当ホテルとしてできることは参加していきたいと思う。

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

地元就学者(中・高校生)、インターン研修の積極受け入れ
地元祭事への参加

- 業種: ホテル
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答: なし

- 業種: 観光施設・土産品等
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答:
石垣市観光協会と連絡し、地域の情報発信や観光客誘致を目的とした情報交換・活動・協力体制作りなど、連携を行っている。
今後、地域や行政に密着型の体験プランなども考えて行く予定。

- 業種: ホテル
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答: なし

- 業種: アクティビティ
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:
ダイビング協会と、川平湾の保全等、業者と県の相当者でどのような形での保全活用が望ましいか昨年からの話し合いを進めている。3回目終了、問題点提起などを行い整理中。

- 業種: 観光施設・土産品等
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:
川平湾及び川平公園保全の為の取組み。

- 業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

- 業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

- 業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

地域事業等への協賛、無料宿泊券等の提供
地域行政活動への協力、(レストランの貸切で母子家庭クリスマスパーティー等の受け入れ)

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

石垣島サンセットビーチにおいては、地域集落においてサトウキビ刈り体験を実施しており主に県外修学旅行にてマリネ体験と一緒に利用して頂いている。

石垣島鍾乳洞においては取組みは行っていないが今後検討して行きたいと考えている。

■業種: ホテル

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

ホテル前市道の花壇を折々の花を植えてお客様に亜熱帯の雰囲気を感じていただけるようにする。
ホテルエントランス及び周辺を清掃し、清潔を保持する(町内会との連携も必要と思われる)

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

小規模個人事業所であるため、時間やスタッフが確保できません。

■業種: ホテル

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

民間依存ではなく、行政の主導力を強化すべく体制を整備し、官民一体となって取り組む基盤作りが必須条件である。

県の計画に基づき、各地域において温度差なく推進していくための役割区分を明瞭にしなければならない。

■業種: 飲食

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

各々の施設は、それなりに取り組んでいると思うが、地域として統一されたコンセプトがないまま来ている。観光協会など、連携しているように見えるが引っ張っていく力がなく、「まちづくり」等に関して

はバラバラな感がある。地域の中で誰が何処に導くのかを明確にしていなと思う。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

■業種: ホテル

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

(39) 竹富町

◎市町村の回答

■問6の回答: 1.既に連携して取り組んでいる

■問7の回答:

八重山圏域3市町及び沖縄県八重山支庁並びに地域観光協会、観光関連業者が連携し、「八重山ビジターズビューロー」として、圏域への教育旅行の誘致、台風時対策事業の立ち上げ、県域内における観光動態及び波及効果の調査、観光感謝の集いなど積極的な活動を行っている。

◎在竹富町の事業者の回答

■業種: ホテル

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

観光協会、商工観光課と共に地元観光業者と連携して地元発信型の宿泊コース、特に体験型観光とエコツーリズムを取り入れた宿泊と、また宿泊しないと出来ない遊びや、ナイトツアー、自然観察等を中心に農業、文化、芸能とのふれあいを大事に出来る宿泊型観光の原点を目指しています。

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

竹富町観光協会、竹富町主催の『島学校』3泊4日コース、受入れの地元発信型のツアーです。

<http://paimusima.com>

■業種: ホテル
■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答:
地域の祭り・行事への観光客の参加推進のプラン策定
農業体験および、その食材を利用した食事メニューの提供

■業種: ホテル
■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない
■問7の回答:
いちホテルがお客様の誘致に奔走しても限界があり、まずは八重山地区にお客様を内地より誘致するように、八重山全体でのお客様の誘致をおこないたい。

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:
地域の連携の組織がしっかりと機能しているようには思えない。

■業種: ホテル
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:
協会等には参画しているが具体的な推進策が不明瞭、また連携が良く取れていない。

■業種: ホテル
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答:

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

■業種: 観光施設・土産品等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

■業種: 民宿・ペンション等
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

(40) 与那国町

◎市町村の回答

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある
■問7の回答: なし

◎在与那国町の事業者の回答

■業種: ホテル
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる
■問7の回答:

平成20年度「地方の元気再生事業」において採択され、国内のみならず海外(台湾)への誘致に向けて行政、事業者が一体となるべく、会議を行ったり専門家を招聘しての勉強会を開くなど現在は島全体がまとまりつつあります。今回のみではなく今後も継続して「観光」というキーワードでまとまっていける事を最大課題として取り組んでいます。

【複数地域にまたがる事業者】

■市町村: 浦添市,名護市
■業種: 観光施設・土産品等
■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

- ・「沖縄の産業まつり」への出店
 - ・チーム美らサンゴへの参画
 - ・沖縄国際洋蘭博覧会への協賛
- ※ほか 地域・商工会議所などのまつり、イベントへの協賛

■市町村: 那覇市,座間味村,恩納村,名護市

■業種: アクティビティ

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■市町村: 那覇市,南城市,石垣市

■業種: 観光施設・土産品等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

※地元で採れる、果汁、野菜、海の幸等の商品開発

※地元農家とタイアップした商品開発

■市町村: 那覇市,北谷町

■業種: 教育関係

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

観光産業人材育成の強化。

地域あるいは身近な観光地の保全・清掃参加。

観光情報発信。

■市町村: 浦添市,北谷町

■業種: 民宿・ペンション等

■問6の回答: 4.取り組みたいができない

■問7の回答:

小規模の為、行動が困難

■市町村: 那覇市,宜野湾市,沖縄市,北中城村

■業種: 飲食

■問6の回答: 5.わからない

■問7の回答: なし

【業態上の広域事業者】

■業種: 交通

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

現在、レンタカー協会が指揮を取り、交通安全のキャンペーンや空港周辺の清掃などを行っております。

■業種: 交通

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答:

観光まちづくりにおける、自然環境保全の観点からCO2低排出量車のハイブリット車を100台導入致しました。これまでの乗用車に比べて45%のCO2を低減することが出来き、環境対策を行なっております。またご利用客にもエコドライブということで排出ガスを低減することが出来る、ドライビングテクニックをご案内して、環境にやさしい運転を心掛けて頂けるようお声掛け致したりして、環境保全に取り組んでおります。

■業種: 旅行会社・旅連等

■問6の回答: 1.既に地域や行政と連携して取り組んでいる

■問7の回答: なし

■業種: 交通

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

市町村の観光課、観光協会、バスガイドのお願いして、地域のお店、まつり等の情報をもらって、ホテル、旅行会社にメールで発信する予定。

■業種: 交通

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

・海洋博「美ら海水族館」を中心とした、北部広域における観光ルートの開発や、古宇利島(ワルミ大橋)の開通による、ルート開発。

・空港と北部広域を結ぶバスルートの開発など

■業種: 交通

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答: なし

■業種: 旅行会社・旅連等

■問6の回答: 2.今後、計画して取り組む予定がある

■問7の回答:

弊社では「地産地消」に取り組んだ旅行商品の開発を現在展開しており、生産者、提供者(ホテル、レストランなど)、消費者(お客様)を結びつけ、「安心安全」を相互に確認でき、楽しむことが出来るとともに、お客さまに購入(県産品の販売)までを目的とした旅行が出来る体制作りを進めています。

- 業種: 交通
■問6の回答: 3.今後、特に取り組む予定はない
■問7の回答:

- 業種: 交通
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:

弊社は小規模のレンタカー会社なので、他同業者やレンタカー協会との連携無しではなかなか活動し辛いのが現実ですので、現在取り組みができていないのが実状です。(マンパワーも足りていません)

- 業種: 旅行会社・旅連等
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:

観光が第3次産業としてだけ捉えられている現在、第1次、第2次産業が全て関わっているという意識を植え付けることが大事なことで、誰がリーダーシップをとって上記の件に取り組むのかもうちよつと真剣に考える必要がある。

- 業種: 交通
■問6の回答: 4.取り組みたいができない
■問7の回答:
どの様に取り組んでいいのか、窓口等がわからない

- 業種: 交通
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

- 業種: 交通
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

- 業種: 交通
■問6の回答: 5.わからない
■問7の回答: なし

- 業種: 交通
- 問6の回答: 5.わからない
- 問7の回答: なし

3.2 調査票

- 本アンケート調査では、市町村向け調査票と事業者向け調査票の2種類を用意した。各様式は次ページ以降のとおり。

アンケートへのご回答は以下の **3種類の方法から1つ**お選び下さい。

- ① 本票にご記入の上、同封の封筒にて郵送
- ② 本票にご記入の上、FAXにて送信 **送信先 FAX 番号：098-868-3833**
- ③ WEB フォームにご記入の上、送信 **<http://www.kanko-mirai.com/a.html>**

アンケート調査票

市町村名： _____

問 1. 貴市町村の観光振興に対する基本的な考え方をお聞かせ下さい。 **1つだけ**お選び下さい。

- 1. 最も重要な産業である。
- 2. 重要な産業の一つである。
- 3. 観光産業以外に主力となる重要な産業がある。
- 4. 観光産業は、自市町村にはほとんどない。

問 2. 貴市町村としての今後の観光振興への取り組みについてお聞かせ下さい。 **1つだけ**お選び下さい。

- 1. 既に取り組んでいる
- 2. 今後は、積極的に観光振興に取り組みたい
- 3. 他の産業振興が優先するが、今後取り組みたい
- 4. 取り組む予定はない
- 5. その他

問 3. 問2の回答に関して、既存の取り組みまたは今後予定している取り組みについて具体的にお書き下さい。「4. 取り組む予定はない」および「5. その他」を選択した場合は、その理由をお書き下さい。

(_____)

問 4. 貴市町村において観光振興の予算(平成20年度実績)はどのくらいですか？

平成20年度の観光振興関連予算額 _____

問 5. 以下のうち、沖縄県全体としての観光振興、および貴市町村の観光振興にとって、最も重要だと思う課題をそれぞれ**3つずつ**選び、下表の「沖縄県全体の課題」「市町村の課題」の欄に○をお書き下さい。

	沖縄県全体の課題 (3つまで)	市町村の課題 (3つまで)
1. 那覇空港の整備		
2. 離島空港・港湾の整備		
3. 観光地へのアクセス道路の整備		
4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備		
5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設		
6. カジノ構想の早期実現		
7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進		
8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化		
9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進		
10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備		
11. 観光産業人材の育成		
12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備		
13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全		
14. 観光情報発信の強化		
15. その他		

「15.その他」を選択された方は課題だと思うことを具体的にお書き下さい。

沖縄県の課題：

市町村の課題：

問 6. 政府は、「観光立国推進基本計画」の基本方針として“地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現”を上げています。また、県においては、「第3次沖縄県観光振興計画」の中で、市町村、民間団体、圏域等が広範に連携して観光まちづくりを推進することとしています。このように、今後は地域の行政や観光事業者、他産業従事者などの連携による地域ぐるみの観光振興が求められています。貴市町村においては、「観光まちづくりの推進」や「広域連携・地域連携」について、どのようにお考えですか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 既に連携して取り組んでいる
2. 今後、計画して取り組む予定がある
3. 今後、特に取り組む予定はない
4. 取り組みたいができない
5. わからない

問 7. 問6の回答に関して、既存の取り組みまたは今後予定している取り組みについて具体的にお書き下さい。「3. 今後、取り組む予定はない」および「4. 取り組みたいができない」を選択した場合は、その理由をお書き下さい。

[]

問 8. 貴市町村において現在もっとも主力となっている産業は何ですか？ **3つまで**お書き下さい。

例:[農業(パイン)] [水産業(もずく)] [観光業(民泊)]

[]

[]

[]

問 9. 観光まちづくりの推進には、観光と他産業の連携が重要だとされています。貴市町村においては、現在の主力産業と観光を連携させることは可能だと思いますか？ その場合、どのように連携すればよいとお考えですか？

[]

問 10. 最後に、貴市町村での観光振興の担当部署と規模(人数)をお聞かせ下さい。

観光振興の担当部署: _____ 規模: _____

観光振興ご担当者氏名 _____

記入者 所属・職・氏名: _____

(電子メールアドレス: _____)

ご協力ありがとうございました。

市町村向け調査票

アンケートへのご回答は以下の **2種類の方法から1つ**お選び下さい。

- ① 本票にご記入の上、FAX にて送信 **送信先 FAX 番号：098-868-3833**
② WEB フォームにご記入の上、送信 **<http://www.kanko-mirai.com/b.html>**
-

アンケート調査票

事業者名： _____

所在地（複数ある場合はすべて）： _____

問 1. 平成20年10月1日に国土交通省の外局として「観光庁」が設置されましたが、その施策や役割についてご存知でしたか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 具体的な施策や役割について知っている
2. 設置されたのは知っているが施策や役割まではわからない
3. 全く知らない
4. その他

問 2. 「観光庁」の設置についてどのようにお考えですか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 非常に期待している
2. やや期待している
3. 特に期待していない
4. その他

問 3. 沖縄県では「沖縄県観光振興計画」や「ビジットおきなわ計画」などに基づいて施策を展開しています。これら沖縄県の施策についてどの程度ご存じですか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 県の具体的な施策についてよく知っている
2. 県の施策の方向性はある程度知っている
3. 全く知らない
4. その他

問 4. 沖縄県の観光振興施策についてどのようにお考えですか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 非常に期待している
2. やや期待している
3. 特に期待していない
4. その他

問 5. 以下のうち、沖縄県全体としての観光振興、および御社の発展にとって、最も重要だと思う課題をそれぞれ **3つずつ** 選び、下表の「沖縄県全体の課題」「御社の課題」の欄に○をお書き下さい。

	沖縄県全体の課題 (3つずつ)	御社の課題 (3つずつ)
1. 那覇空港の整備		
2. 離島空港・港湾の整備		
3. 観光地へのアクセス道路の整備		
4. 観光施設や付帯施設(トイレ・シャワーなど)の整備		
5. 大型テーマパーク(東京ディズニーランド級)の誘致・建設		
6. カジノ構想の早期実現		
7. エコ、グリーン、健康保養型などニューツーリズムの推進		
8. 修学旅行の受入体制と誘致の強化		
9. MICE(コンベンション・スポーツ大会等)の施設整備と誘致の推進		
10. 外国人観光客の誘致と受入体制の整備		
11. 観光産業人材の育成		
12. 観光協会設立など地域ぐるみの受入体制の整備		
13. 自然や文化、地域景観など観光資源の保全		
14. 観光情報発信の強化		
15. その他		

「15.その他」を選択された方は課題だと思うことを具体的にお書き下さい。

沖縄県の課題：

御社の課題：

問 6. 政府は、「観光立国推進基本計画」の基本方針として“地域住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現”を上げています。また、県においては、「第3次沖縄県観光振興計画」の中で、市町村、民間団体、圏域等が広範に連携して観光まちづくりを推進することとしています。このように、今後は地域の行政や観光事業者、他産業従事者などの連携による地域ぐるみの観光振興が求められています。御社においては、「観光まちづくりの推進」や「広域連携・地域連携」について、どのようにお考えですか？ **1つだけ**お選び下さい。

1. 既に地域や行政と連携して取り組んでいる
2. 今後、計画して取り組む予定がある
3. 今後、特に取り組む予定はない
4. 取り組みたいができない
5. わからない

問 7. 問6の回答に関して、既存の取り組みまたは今後予定している取り組みについて具体的にお書き下さい。「3. 今後、取り組む予定はない」および「4. 取り組みたいができない」を選択した場合は、その理由をお書き下さい。

(

記入者 所属・職・氏名: _____
(電子メールアドレス: _____)

ご協力ありがとうございました。

沖縄観光の未来を考える会 市町村・事業者アンケート

2008年12月

アンケート協力: 株式会社カルティベート <http://www.cultivate-inc.jp>